臺灣日日新報　夕刊

十一月十五日

夕刊定價一部二錢

編輯兼發行人　佐々木[illegible]
臺北市榮町四丁目卅貳番地
發行所　臺灣日日新報社
基隆市旭町（電話七八五）基隆支局
臺中市寶町（電話三〇七）臺中支局
臺南市錦町（電話[illegible]）臺南支局
花蓮港街入船町　花蓮港支局
大阪市西區靱南通二丁目（ユタカビルディング内）大阪支局
東京市京橋區銀座西[illegible]丁目（[illegible]館内）東京支局

靴を丈夫にする
サンエッチ
靴クリーム

敵軍大動搖

白茆口上陸軍は
我が精鋭部隊
天晴れ上陸敢行後
佐藤、高橋各部隊猛進

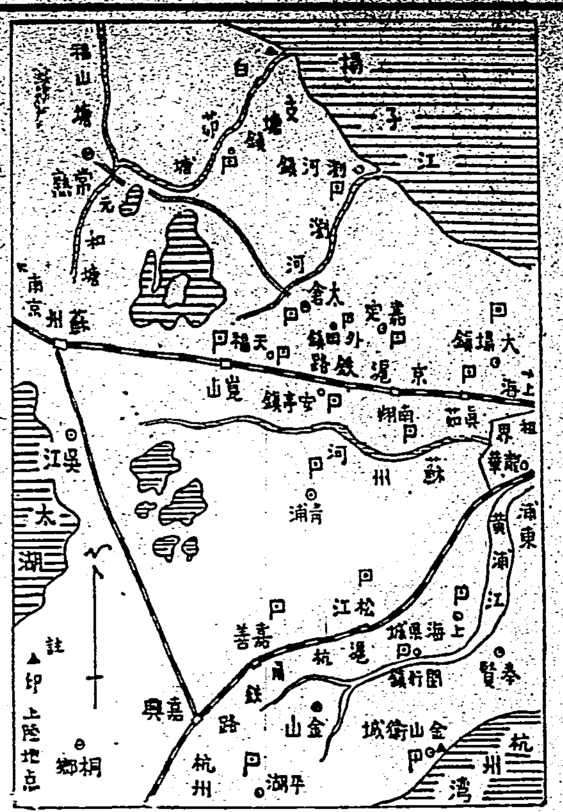
【白茆口にて十四日發同盟特派員】上海方面のわが軍は十一日夜より全軍一齊に追擊戰に移り之と相呼應して〇〇兵團は十三日拂曉揚子江沿岸の白茆口に敵前上陸し引續き勇躍前進を續けてゐる、記者は軍艦〇〇に便乘してこの戰鬪上陸部隊の勇猛果敢なる敵前上陸の光景を目の當り見るを得た、〇〇隻の運送船に分乘した我が第一次上陸部隊は十二日日沒とともに軍艦に護衛されて〇〇を出發行動を開始、夜陰に乘じ揚子江を溯江した、空は荒模様で密雲が月明を遮り豫定の碇泊地に到着したのは將に夜半だつた、目差す白茆口の上陸地帶までは江岸に沙洲多く本船は近づけないので上陸部隊は何れも白茆口上流に〇〇の小艇に乘るももどかしく未明の江上を下航する、天明の直前になつて漸く全部の小艇が上陸地點に到着し軈て東天白み初めるや命令一下各部隊は一齊に〇〇して陸上に向ひ突進を開始した、何たる壯觀であらう、〇〇隻の〇〇は揚子江の朝霧を衝き白浪を蹴立て陸岸に殺到して行く勇敢な上陸部隊は永津、佐藤、高橋の各部隊で陸上の敵は機銃小銃の火蓋を切つたが我が小艇の上陸部隊は忽ちバラバラと陸上に駈上り敵陣地の眞只中に突込んだ時正に六時三十分わが部隊が陸上に駈け上ると同時に軍艦は一齊に砲門を開き陸の荒鷲亦之に呼應して大擧飛來し敵の密集部隊に爆擊を開始した、上陸部隊は江上及び上空よりの力強い協力に勇氣百倍怒濤の如く突入する勢ひに呑まれた敵は早くも浮足立ち忽ち堅固な陣地を捨て先を爭つて潰走する、我軍は一氣呵成に數段の敵陣地を蹴散らし敗走する敵に對し猛追に次ぐ猛追を續けてゐる

昆山城を占領
けさ六時三十分に

（上海十五日發同盟至急報）我軍は十五日午前六時三十分昆山を占領した

城頭高く日章旗飜る

【上海十五日發同盟】昨朝來昆山城に肉薄夜を徹して猛攻中だつた長谷川、岡本、竹下の諸部隊は今拂曉を期して猛攻擊に移り一擧に昆山市街に殺到、これを占領して城頭高く日章旗を掲げ更に蘇州方面に潰走中の敗敵に對して猛烈な追擊を開始した



新上陸地、白茆口並に戰線

極東の屬領防衛に
英、蘭が協定
事變に不安を感じ

（ロンドン十四日發同盟）支那事變勃發以來イギリス政府及びオランダ政府は各自極東の屬領安全を懸念し共同防衛を協議しつつあると傳へられたが十四日サンデー・タイムス紙外交記者の報道に依れば英、蘭兩國間には極東の屬領防衛につき一定の取極めが現地兩國海軍當局間に成立したと言はれる

南市を清掃
工作順調に進捗

【南市にて十四日發同盟特派員】我軍の十四日南市城内の清掃工作は櫻田憲兵部隊長及び川[illegible]部隊の手にて本格的に開始し占領地區を一區一區捜索し殘つてゐる支那人の身體檢査を行つたが[illegible]人口稠密な土地だけにその困難は容易でない、既に發見された小銃は數千挺、小銃彈は數十萬發の多きに達してゐる、避難民地區の境界線には逃げ込む[illegible]の安民布告[illegible]が貼られ避難民は安心して今日は微笑さへ浮べて我軍を迎へてゐる

猛襲常熟に迫る
不意討ちに敵軍大狼狽

（〇〇十四日發同盟特派員）十三日未明朝霧を衝いて決行された揚子江岸白茆口の敵前上陸は杭州灣上陸にも比すべき奇襲作戰により敵の虚を衝き陸海軍一體となり一擧に江岸の敵陣地を突破したため敵は抵抗の暇もなく潰走し我軍は見事敵前上陸に奇功を奏し第一線の高橋、佐藤兩部隊は敗走する敵を追擊し快速挺身一部隊は同日梅李鎭を奪取し他の一部は十四日早朝支塘鎭を占據し更に午後二時早くも常熟の東方約〇〇粁に迫つた、常熟の敵は第四十、第七十六兩師を主力とし其他の部隊を加へ相當強固な既設陣地にて防禦の姿勢を執つてゐたが我軍の不意討ちと昆山、蘇州方面の動搖に不安空氣濃厚なるものの如くである、尚十三日の上陸後の戰鬪にて敵の遺棄死體約四百、捕虜將校以下二百五十名に上つたが我方の損害は栗本少佐以下戰死傷僅かに三十名内外である

常熟城陷落
殊勳・佐藤部隊占據

【上海十五日發同盟至急報】揚子江上陸部隊佐藤部隊は今朝九時半常熟を占據した

敗走する敵兵めがけ
夜間爆擊を敢行
月明に照明彈を投下し

【上海十四日發同盟】海軍航空隊は無敵陸軍の追擊戰に協力し十四日夜昆山より蘇州を經て京滬鐵路傳ひに潰走の敵及び昆山より常熟に至る道路上を算を亂し敗走中の敵に對し折柄の月明を利用し或は照明彈を投下し猛烈な夜間爆擊を敢行した

山澄侍從武官
けふ基隆に到着

【基隆電話】馬公を訪ねて　聖旨を傳達した侍從武官山澄中佐は軍艦〇〇で同地發隨員を伴へて十五日午前十時半基隆に入港した〇〇は第一岸壁に繫留海軍武官、小林機關少佐、西村督府事務官、池田[illegible]に出迎へられ又台北よりの中村秘書官、佐々木州警務部長、基隆より間崎要塞司令官、佐々木憲兵隊長、矢野市尹を始め軍官民代表多數が艦内に出迎へて挨拶をなした一行は同十一時上陸直ちに自動車にて台北に向つた

一路草山着

侍從武官山澄海軍中佐は十五日午前十一時基隆着中村秘書官、西村防空課長、小林海軍武官等の案内で自動車にて草山に向ひ午後零時四十分貴賓館別館に入つた

森岡長官上京
來年度の豫算折衝のために
基隆出帆高砂丸で

森岡總務長官は議會出席並に十三年度豫算案に關する要務を帶び十五日基隆解纜の高砂丸で官民多數の見送裡に上京の途についたが車中左の如く語る

主として豫算に關する色々な折衝の為に上京する譯だが昨年の來年度豫算は時局柄一般會計の編成方針に從つて編成せねばならず一般會計で如何なる程度に普通の仕事を認めるかが明確にならないと總督府の豫算もはつきりしない、一般會計では新規事業等は時局に伴ふもの以外は認めない方針らしいが臺灣は内地と違つて開發も遲れてゐるので内地と同一の歩調をとる事は困難であるから出來るだけ產業交通等緊要なものの豫算は認めて貰ひ度いと思つて府[illegible]調査會で決定した事業に要する經費約一千五百万円を計上してゐる、一般會計繰入金增額の問題はこの春の議會が濟んだ時當時長官だつた賀屋藏相から宜敷くと云ふ話も一寸あつたが大藏省では相當考へて居ると思ふ、然し外地の負擔にも限度があるから無闇に增額を要求されても困るが既設の額から考へて相當な負擔となるかも知れない、鐵道部長を新設する交通局官制はなるべく早く進行し度いと考へてゐる官廳執務時間についても色々意見があるやうだが實際上どれがよいか實際に徵して改むべきなら改め度いと思ふ

張答禮使離京

【東京十五日發同盟】治外法權撤廢の答禮使節として去る九日來朝した滿洲國國務總理大臣張景惠氏一行は連日我が朝野を擧げての歡迎に感謝しつつ十五日午前九時東京驛發官民多數の見送り裡に離京西下した

人事

▲岡出幸生氏（[illegible]）十五日夜行にて[illegible]
▲西護義徳氏（臺灣合同電氣重役）十五日來臺（鐵道ホテル）
▲西村良次氏（大阪[illegible]）十五日來臺（日之丸館）
▲勝間田善作氏　十五日高雄より來北（吾妻）
▲渡辺良敬氏（臺中州產業主事）十五日來北（鐵道ホテル）
▲日比野治氏（[illegible]常務取締役）十五日蘇澳より基隆を經て歸北（鐵道ホテル）二十日[illegible]の由
▲佐藤正二氏（[illegible]）十六日朝の急行にて臺北發赴任

その日その日

〝中央軍、全面的に潰滅〟の時近づく、之に依存する蔣政權の潰滅また近きにあらん

○

前面に當る崑山落ちて、蔣の前衛基地蘇州危し——といふ恰好、正に寂し

○

太倉の背後、常熟へ通ずる白茆口方面への上陸、奇襲、而もソレが嬉しい佐藤、高橋部隊、誇るは嬉しい大武勲

○

日支紛爭の〝留め男〟に獨逸で無しに伊太利との説、單に說として承はつて置かう

○

〝留め男〟が、今急に飛び出す時機かドウか、南京も落ちないし蔣政權も滿身創痍ながら〝地下室〟に安泰だし

○

只一つ——〝留め男〟は、赤の他人樣より、親戚の方が宜い事だけは申上げて置く

○

さすがに古強らしい共產黨軍の[illegible]山遁走、〝內情暴露〟も振つてゐる

○

武藤將軍の恰好だつた山東省にニースかノーかの最後決定近づく　のらくらにモウ許されない

○

長官上京で、總督府の豫算問題、愈々開幕さる、議會を待つて中央突破を期されよ

★無絃琴★

★支那から歐米へ行つてゐる外交官連は、何れも揃つて暗澹、明細の限りを盡してゐるが、この民國外交官の間に在つて[illegible]、動かざること林の如き大人外交官は何と言つても駐日支那大使許世英君である▲吾が國の外交官が早く南京を引き揚げて國交斷絶の姿になつてゐるのに反し、東京駐劄の支那大使館は許大使以下凡てその儘で悠々として支那大國の[illegible]を遙かに誇示してゐる▲國民政府でも日本の駐劄大使には限り多くを期待せず又他國は知らず我國に於ては外交上で暗躍等を許す餘地もないので國府としては飾りを受け付程度の大人物を飾り物として置けば好いといふので、先の財政部長で國務總理までした所謂元老の一人である許世英大使を東京に送つてある譯、その代りその下には相當の[illegible]を配し日本の情報集めには相當に力を注いでゐるらしい▲そんな訳で許大使は大人風の好々爺、國民政府は憎みても餘りあるが、此の大使だけは憎めない、現に八月十四日、上海事變の既に勃發してゐる當日、許大使は我が廣田外相を訪問し〝支那は戰爭する意思は毛頭無い、その證據には支那側に優秀な空軍があるが、それさへ未だ使用してゐない〟との口上▲いづくんぞ知らん其時には既に廣田外相の机の上に、支那側のノースロップ機が上海租界を空襲したといふ電報が來てゐたのだ▲でも此好々爺である許大使に向つて〝何をいふ、これ〳〵では無いか〟とは流石に廣田外相も言ひ切れず、體よくあしらつて歸したさうだ。

浮標のごとき女（138）

尾崎士郎作
梁川剛一畫

悲しき人々（五）

支那風の煉瓦塀のあひだにある路地は一町ほどで行きどまりになつて、すぐ小さい廣場へ出る。なるほど、見あげると、すぐとつつきの二階建の家の屋根の下に、「大眠旅館」と石柱に彫つけた文字が彼女の眼に映つた。

「どうぞ」

と青年は先に立つて入口のすぐ左手にある階段をのぼつていつた

「足に氣をつけて下さい——ところどころ踏板が痛んでゐますから」

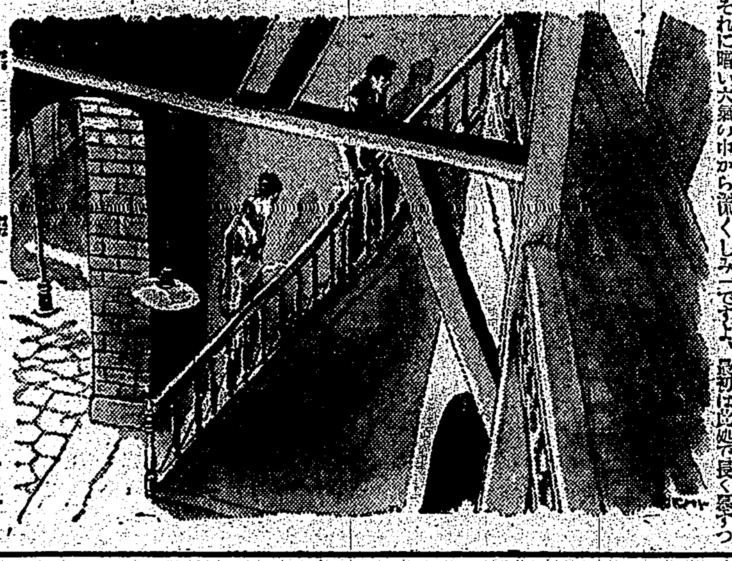
踏板の痛んでゐるよりも、この急勾配な階段は足元に氣をつけてゐると頭がすぐ閊えさうになる。それに暗い穴藏の中から漂くしみついた埃のにほひがつよく鼻を搏つのである。三重子は[illegible]胸のむかついてゐるのをやつとこらへて二階へのぼつていつた。

（狹い廊下をはさんで同じやうな恰好の部屋が兩側にならんでゐる）

さつきは、救はれたといふ氣もちにまぎれて青年のいふままにふらふらとやつてきたのであるが、此處までくると三重子の胸には急にあたらしい不安が伸びのがつてきた。

「ひどいところで——ほんとに恐縮ですが」と、青年は、また廊下の中ほどに立つてもぢもぢしてゐる三重子の方を振返つて極りわるさうな微笑をもらした。

妙なところへ來てしまつた、と思つたが今更どうしようもないのである。青年が扉をあけて待つてゐるので「いえ」と軽く會釋をして部屋へ入つた。が六疊足らずの小さい部屋の中は、たつた一つしかない正面の窓も、すぐ前の高い建物に遮られてゐるので、部屋全體がうす暗くじめじめしてゐる。



壁につづいて粗末な事務机が置いてあるがその前には籐の掛椅子が一つあるだけで——ほかに裝飾はおろか荷物らしいものさへもなかつた。

しかし、青年はそんなことには無頓着で「さア、どうぞ」と三重子に籐椅子をすすめてから自分は低い窓框に腰をかけた。

「びつくりなすつたでせう？」

「失禮ですが」

三重子はおそるおそる椅子に腰をおろした。

「天津にはずつと長くいらつしやるんで？」

「いや——今年の春、來たばかりですよ、最初は此處に長く居すつもりでもなかつたんですが」

光線の加減でもあるが、一瞬間青年の顔を陰鬱な翳がかすめた。しかし、彼はすぐ元氣のいい聲で

「——それよりも、僕、あなたにお目にかかるのは始めてぢやないやうな氣がするんですが」

彼は慌ててポケットの中からハンカチを取り出し汗ばんだ顔を拭きながら

「僕——木谷と云ふ者です。無論貴女に直接お目にかかつたわけぢやないですが」

「さア」

三重子はどぎまぎしながら、どつと湧きかへる記憶の中に青年の顔を捜し求めたがどうしても憶ひだせなかつた。

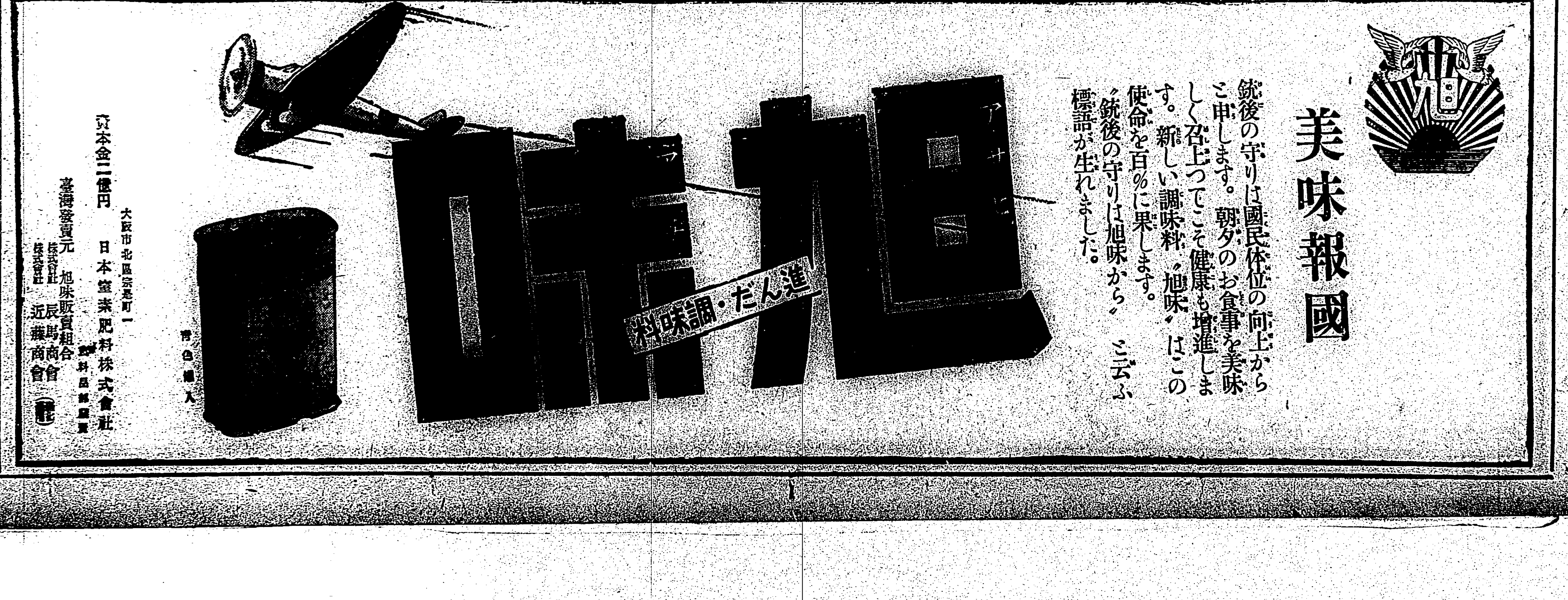
「——あの、古城さんの奧さんぢやありませんか？」

ええ——と言つたまま三重子は首をすくめた。

「ですが——何處でお會ひしたんでせうかしら？」

「ああ、やつぱり」

木谷はひよいと窓框から飛び降りた。その眼が親しさといふよりも新しい好奇心に輝いてゐる。


美味報國

銃後の守りは國民体位の向上からご申します。朝夕のお食事を美味しく召上つてこそ健康も增進します。新しい調味料〝旭味〟はこの使命を百%に果します。〝銃後の守りは旭味から〟と云ふ標語が生れました。

旭味
アサヒアジ
進んだ・調味料
青色罐入

大阪市北區宗是町一
日本窒素肥料株式會社
資本金二億円
臺灣發賣元
株式會社　旭味販賣組合
株式會社　辰馬商會
株式會社　近藤商會

陸の荒鷲部隊
潰走する敵を猛爆す
黃河以北確保近し

【〇〇十四日發同盟】濟南攻略の隊形は逐次活況を呈し地上部隊は敵を追擊猛進を續けてゐるが我が空軍は連日地上部隊と協力し山東平原を縱橫に飛翔し敵陣爆擊に物凄い威力を發揮してゐる、即ち十四日午前中平部隊の〇〇機は臨邑、禹城方面より續々退却中の敵敗殘兵を殲滅し次で禹城、晏城間に於いて敗殘兵滿載の裝甲列車二箇に果敢なる降下爆擊を敢行しこれを完全に粉碎した、また同日午後には大擧濟南の咽喉を扼する黃河南岸濼口鎭（濟南北方二粁）を急襲し折柄小型軍用船百餘隻をもつて渡河退却中の敵大部隊を猛擊し完全に顚覆せしめ多大の損害を與へ濼口鎭は大混亂を呈してゐる、敵兵は黃河南岸に雪崩を打つて潰走中で我軍の黃河以北の確保は近きにある

威縣を空爆

【〇〇十四日發同盟】十四日午後我が島谷部隊の〇〇機は津浦、京漢兩線中間の要衝威縣（順德東南方）を襲ひ宋哲元麾下の敗殘兵部隊に對し爆擊を敢行して大損害を與へた

白茆口敵前上陸に
一水先案內人が殊勳
勇敢な行動に將士も感激

【上海十四日發本社特電】〇〇兵團の十一日拂曉の白茆口敵前上陸は杭州灣北岸の夫にも劣らぬ大成功を收めたが其の蔭には上海に古くから在住する一水先案內人の文字通り獻身的な努力が與かつて偉大な戰績をなしてをり如何なる武勳にも劣らぬ其の功勳に對しては陸海軍兩方面から絶大な感謝と賞讃が送られてゐる、此のパイロットは上海の日本揚子江水先協會の細保三郎氏（東京市出身）で先頭部隊の敵前上陸に際し特に海軍より依囑され軍艦〇〇に便乘、我が軍艦や艦船の散在する揚子江を航行して愈々上陸地點の手前に到着するや細保氏は其の豐富なる經驗と知識の全力を注いで上陸附近一帶の航路や中洲にいちく克明に航路標を作つて上陸作戰の遂行に重大な貢獻をなしたのであつた、標識はいちく丁寧に色別けした浮標で其の上には燈火までも點し 此處は 淺瀬、此處は中洲と標識したものであつて、敵彈が雨霰と飛來する敵前數十米の江上を驅船して、いちくこれ等の標識を設置した、其の勇敢な行動は千軍万馬の將兵と雖も舌を卷いて驚いた程であつた、これが為數百隻の小艇に分乘して敵岸に突進する我軍の上陸作業は極めて敏速に遂行されたのであつた、只左翼方面の四、五隻の小艇が中洲に乘上げた時には同氏は痛く責任を感じ、如何しても自分が彼處まで行つて殘らず引上げさせて來るから舟を出して 呉れと 主張したが幸、此の小舟は間もなく全部無事任務を果した、此の外上陸戰鬪中に二三の我兵は負傷して河中に墜落しあはや危險と想はれたが此の時の細保氏の心配振りは傍で見る目もいたはしい程で、結局是等の兵士等が生命に異常なく救ひ上げられるや我が事の樣に喜んで躍り上る等パイロットとしての重大任務遂行の外に此の赤心、國を想ふ心情には我陸海軍將兵も痛く感激して絶讃を捧げてゐる

[illegible]上海
本社特派員　福永泰助　⑨

辨當を開いたトタン
追擊砲彈が見舞ふ
上海大追擊戰を觀る

第六信

アド・バルン

昨日（二十六日）戰線行から帰つて原稿を書いてゐると、夕方になつて素晴しいニュースが入つた

「午後四時大場鎭陷落！」

八月十三日に上海に事が起つてから、虹口の日本人が待ちに待つてゐた大場鎭が陷落したといふのだ。

「やあ、お目出度う」

ホテルの食堂に行くと、誰も彼も喜びの色にあふれてゐる。僕は代議士のA君とビールを拔いて祝盃をあげた。

「もう大丈夫です。上海も包圍された形になつてしまひました」

A君はもうすつかり落着き拂つてゐる。

「どうなりますかね、閘北の敵の運命は？」

「今夜の內にこつそりと逃げるでせうよ。グヅ〳〵してゐたら皆殺しの目に遭ひますからね」

と、A君は流石に代議士である。ビールを飲みながら僕は考へた（これは面白くなつてきたゾ。明日は一つ陸軍へ行つて、陸軍の大部隊の追擊戰なるものを見て來よう。）と。

が陸軍へ行つたが最後なか〳〵上海へ帰れないと思つて、探したに用意してきた森永の乾パンや酒の罐詰やレモンなどといふ、日本から持つてきた食料品をリュックサックに詰めて、前線に泊り込みの支度をした。

朝起きて見ると虹口にはアド・バルーンが揚がつてゐた。「日本軍占領大場鎭」と書いてある。

閘北の敵も、河向ふの支那人達もこれを仰ぎ見て「こりやトテも敵はん」と、溜息をついたことだらう。

アド・バルーンで思ひ出したが今年の夏鎌倉海岸ではアド・バルーンの代りに飛行機隊を揚げて、その下に「オリエンタル・フイルム」だとか「ヒゲタ醬油」だとか「レート白粉」だとかいふ廣告をブラ下げてゐたが、あれを上海へ持つてくればよかつたと氣が付いた。この頃上海にはしよつ中、浦東のはうから吹いてくる東がかつた風があるのだから、この飛行機隊をアスター・ハウスの屋根のうへ位から揚げて敵陣の眞上に流してやつて、その下に支那兵が戰意を失ふやうな宣傳言葉をブラ下げたら面白かつたと思ふ。さうすると奴さん達の中にはグニャ〳〵となつてしまふのもあるだらうし、また中にはカン〳〵になつて怒る奴もあるかも知れない。

カン〳〵組は飛行機隊が猛に陣つて高射砲や高射機關銃のメチャ擊ちを始めるだらうが、さうしたらこれまた頗る面白いといふのは敵にサラデダニ不足勝ちな彈藥の浪費を奬勵することになるばかりか、その彈丸は悉く自分達の頭の上に落ちてから負傷者を出すといふ一石二鳥の効能があるといふものである。

だがその名案も、「日本軍占領大場鎭」のアド・バルーンを見てから氣が付いたのではもう間に合はない。

戰場後方風景

この朝、僕は陸軍諸部隊の內でいま最前線に進出してゐるといふ〇〇兵團に從軍することにした。「從軍することにした」と言つて、陸戰隊と違つて陸軍部隊は隨く遠くの方にゐるのだから、オイソレと行くわけには行かない。

勿論テクシーで行かれるやうな距所ではないから、どうしても自動車が要るのだが、この自動車といふ奴には從軍記者も慰問團も從軍市政部もみんな參つてゐる。といふのはハイヤーは今日此頃甚だしいの王の素び出るほど高いばかりか、第一借りようたつて仲々手に入らないのである。漸く一台を見つけ出し〇〇兵團を訪れようと出かけた。

軍工路を通つて吳淞に出たまではいい道だが、吳淞から先きが、少しスピードを出すと頭を天井に敲き着けるといふ難航路だ。

上海は、僕達が〇月〇日に着いてから雨がまだ一度も降らないといふ好天氣振りだから、軍の作戰も大いに涉どつた訳なのだが、お蔭樣で道路はヒドイ埃ときた。

その埃道を軍用自動車が通る、輜重縱列が通る。負傷兵を担いだ担架が通る。何のことはない、映畫「西部戰線異狀ナシ」そつくりだ。

海軍の陸戰隊を見てゐた眼でこれを見ると、（なるほど陸軍は大きいなあ）と感心する。

尤も大正三年の青島攻城戰のときに陸軍に參加したことのある僕にとつては、斯うした光景は初めてではない。初めてではないが、何しろあの時は第十八師團がたつた一つつきりのいくさだから、こんどの大上海戰とは較ぶべくもないのだ。

大軍を動かすときの壯觀といふものの大仕掛けなことは、この日一日で判つたやうな氣がする。

上海はこの二三日バカに暑い。新聞を見ると最高溫度が華氏の八十度で、普段の年に較べて十度も高い。陸戰隊のはうはまだ夏服だからいいが、陸軍はすつかり冬服に着替へてゐるから、誰も彼も汗ダクだ。

僕の自動車はその間を縫つて西南のはうへ大迂回をする。

大場鎭だらうが眞茹の無電台だらうが、閘北を突つ切つてやつてくるのなら訳はないのだが、いまはかうして北のはうから遠廻りをしなければならないのだからやり切れない。

〇〇〇前進

自動車は、蔡家宅とかいふ所を一寸行つたところまで進んだが、これから先きはもうテクシーだ。兵隊さんがあつちにもこつちにもゐる間を縫つて田圃道を南のはうに行つてみた。

（〇〇〇司令部はいま移動中である。）

僕はもう晝がかつたので田の畔に腰を下して、リュック・サックを開いた。朝が早かつたせいか、弁當がとてもうまい。

と不意に、頭の上を「ヒユーッ」と音を立てて何かが飛んできた。と思ふ間もなく眼の前に黑煙をあげて、パーンと炸裂したものがある。

「こいつあいけねえ、迫擊砲だ」

さう思つたときに又もやヒユーッ……パーン。

こんどは僕のゐるところから百米ばかしの田の中で黑煙をあげてゐるのだ。

「此處にゐちやアブナイ」

僕は附近にゐた他社の記者達を促して立ち上つた。

「どつちに逃げたらいいでせう？」

と、一人が訊いた。僕は、二つとも僕達に對して遠彈だつたので、これは敵のゐる方に向つたがいいと思つて答へた。

「前へ進むがいいです」

リュック・サックと食べかけの弁當を持つて、みんなは前のはうに駈け出した。（寫眞は我軍が使用してゐるアド・バルーン＝陸軍省檢閲濟）

白衣の勇士第二陣
けふ富士丸で上陸
原隊所屬病院に向ふ

【基隆電話】我等が佐藤、高橋兩部隊長に隨ひ上海戰線で名譽の戰傷を負うた白衣の勇士第二陣が十五日午前十一時基隆入港の郵船富士丸でなつかしい台灣に凱旋して來た、佐藤部隊は寺川、岩元、高橋三大尉、角吾平中尉、江波少尉以下、高橋部隊は紙屋少尉以下の下士官兵、軍屬、軍夫合計八十五名、この日雨の基隆は時々小雨を催したが入港前より早くも岸壁には衛生隊及び白衣の天使の一隊が出迎へ驛前までのホームにはズラリと在鄕軍人、軍官民代表者各學校代表、各種團體代表、各種婦人會等が 團旗を 先頭につめかけて待ち構へる、午後一時半白衣の勇士は輕きは徒歩で重きは担架で上陸、沿道に立並ぶ出迎の群に衛生隊や看護婦に護られつつ順次應へつつ基隆驛に向ひ夫々原隊所在地病院に向けて出發した、船中各室の勇士を訪れて慰問を表すると戰傷者とも思へぬ元氣さで生々しい上海戰線の武勇傳を語つてくれたが何れも一日も早くよくなつてもう一度戰線に起つのだと必ず最後につけ加へて訪問の人々を感激させた

寺川大尉談 十月二日羅店鎭北方二千五百米の李家村で敵彈の為め右大腿部と下肢をやられた、大腿部の方はよくなつたが下の方がまだ少し 惡くて 步行は出來ない、併しもうすぐよくなるよ、私の隊は丁度其時激戰最中いはば運の惡い時で〇隊長卜部少佐が負傷されたのも其時だつた、私はすぐ傍にゐて卜部少佐が"オイ寺川、寺川"と呼ばれるので駈よつて見ると隊長がやられてゐたのだ、それで少佐の命によりしばらく〇隊長代理を務めて指揮を執つたが戰況を見ようと一寸高い所に上つた時パンとやられた、察する所支那兵から狙ひ射されたらしい、我々は夜襲に挑戰に非常な效果を收めて第二段の工作準備中であつたが何しろあの時は突擊又突擊で敵陣の中央に突込み前も右も左も敵と云ふ有樣だつたから 苦戰の樣が 想像さ れやう、種々御話し度い事もあるが戰の中ばに而も大した戰功も樹てず部下を戰地に殘してかうして私だけ傷を負うて歸つて來る事は實に殘念でならない、白骨になつて或は武運強く凱旋して基隆を見ようと思つたのが今病衣を着て歸つて來るとは感慨無量だ、近い內によくなつてきつとも一度戰線に起つ、支那軍は何しろ數が多くてうるさいが我軍の突擊の前には全くみじめなものでこの軍刀で少しばかり斬つてやつたが餘り自慢になる程の數でもない、併し我軍の上海包圍も 完了し たし後はもう大した事もあるまい

同部隊高橋大尉は歸還中大尉に昇進した人であるが語る

左前膊砲彈破片創と左大腿部貫通銃創で頰にはまだ破片が殘つてゐるが大した事はなく殆んど癒つたのも同じ事だ、私は九月二十一日羅店鎭西方五粁の林宅で戰鬪中やられた、支那軍には抗日思想がしみこんでゐるので滿洲事變當時の樣に易々とは行 かない

新設の航空無線局
桃園郡下に敷地を選定

豫算四十五万円をもつて本年度から三ヶ年繼續事業で新設さるべき航空無線局は年度はじめより遞信部に於て敷地物色中のところ最近送信所、受信所とも新竹州桃園郡下に決定をみ、桃園郡役所の手で近くこれの買收に着手することとなつた、着工は來春の豫定で二キロ短波送信機三台のほか掘つけ機械の注文も近く發せられる段取りになつてをり現在板橋にある內台用の長短波送信機も勿論移轉することとなるが該局は主として對外用即ち將來南洋、對岸に新航路開設される場合に重要なる任務を果すことになるので該局の設立は帝國航空路の發展上極めて重大なる意義がある

軍國色が濃厚だつた
けふの七五三の祝ひ

十五日は七五三の祝ひ日…台灣神社には早朝から參拜の親子づれで引きも切らぬ盛況さであつた、今年は參詣する子供の中に軍服姿が極めて多く流石に軍國日本の非常時色を濃厚に表明してゐたのは嬉しかつた（寫眞は參拜の親子づれ）

臺北稻荷神社の臨時奉幣祭

台北稻荷神社では去る十月二十日附を以て鄕社に列せられ是が奉告の為め十五日午前十時から同神社にて臨時奉幣祭を執行、督府より島田文教局長、幣帛供進使として隨員二名を隨へて參進、藤田台北州知事、石井台北市尹始め官民、氏子多數參列、式はいとも嚴かに執行され同十一時過ぎ閉式したが、近來にない盛儀であつた（寫眞は幣帛供進使）

あす新公園で
戰歿者の臺北市葬
團體參拜は二百二の多數

護國の鬼と化した支那事變名譽の戰歿者の台北市葬は十六日午後二時から台北新公園にて執行されるが團體參拜者は役所二十八、軍部八、學校四十四、銀行會社二十二、町會二十七、防衛團六、赤十字愛婦十一、消防組、青年團八、救護所六、青年團十九、宗教團八、合計二百二團體の多數に上り非常な混雜が豫想されるので、團體參拜者は現場に到着すると市係員の指示を受け博物館前より逐次整列し參拜の後、公園中央道路に出でて表町方面へ解散する事となつて居る

三勇士の遺骨
無言の凱旋
─後藤方泉君慰問から歸る

【基隆電話】近衛富士丸は十五日朝基隆に入港した、佐藤、高橋兩部隊の白衣の勇士八十五名が歸つて來た外宗像、廣瀨、野田三上等兵の遺骨も無言の凱旋をなし上陸後驛前陸軍運輸部に安置され午後戰友に捧げられて戰傷者と共に出發した、其の他の主なる船客は窓口を引さげて上海戰線に乘出し得意の講談で敵彈飛雨の中を第一線勇士を慰めた後藤方泉君始め大谷光慈、合同興業西澤重役、田熊化科研究所田熊常吉、金子弁護士、カオール本舗那須稔、中外藥業調查會安田理事の諸氏であつた後藤方泉君は敵前二百米の所まで行つてお好みにより 講談で 勇士を慰め〇〇部隊長や佐藤、高橋兩部隊長其他各部隊長より感謝狀を贈られた、〇〇部隊は上海前線でも非常に勇敢で人氣者になつてゐる勇壯な講談の材料もうんと仕入れて來たが何れ公開する心算だ 窓口は一度は支兵の血をぬつてやらうと思つたがどうも手を合せて拜まれるとやつつける事が出來ないので殘念ながら使へなかつた と語つた

大谷氏談 高雄に建てゝゐる家が鐵筋を使つてはいけないと云ふお達しでオヂャンになつてので樣子を見に來たのだがまあこの分では 延期す るより外あるまい、今二甲步ほど棉を植ゑてゐるが非常に成績がよいので來年はもつと增植しようと思つてゐる、何しろ時節柄忙がしくてそれに お話したい事もあるが差障りがあるから始めから聞かないでおいてくれ、此間上海に茄子の漬物を慰問品として贈つたがあれは私の家の裏庭に出來たものだ、日本人にはどうしても漬物が必要だネ

敵數名を斃し
遂に壯烈な戰死
譽れの家族の一人鶴長一等兵

鶴長三義一等兵は高橋部隊に屬し上陸以來江南の地に轉戰中であつたが去る十月四日壯烈な戰死を遂げた旨原隊から公報が熊本の遺族の所にあつた、鶴長一等兵の從兄で同じく戰線にある鶴長部隊長からの手紙によると小蒲の攻擊に際し敵の手榴彈で負傷した中元上等兵を介抱し更に自分の部隊の突擊に參加し眞先にクリークを渡り鐵條網を飛び越え敵の交通壕に飛込み肉彈戰を演じ敵數名を斃したが不幸手榴彈のため隊長と共に壯烈な戰死を遂げたものである、叔父の市內佐久間町二の十八鶴長齋助氏は次の如く語る

三義は兄の子供で商賣人にするため桐田商會に御世話を願つてゐました、二十二歲で仲々元氣者でした、私の子供や甥は八人も軍籍にあり七人まで出征してゐます、三義はそのうちの一人です、あれは元氣で思切つた事をする性質でしたからもつと戰功をたてると思つてゐました

向桐田商會主の桐田幸男氏は語る

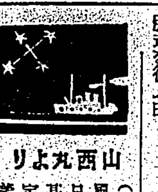
三義君は私の店に二年ゐました眞面目な青年で昨年の春徵兵檢查をうけ甲種合格で入營しました、私は叔父さんに無理な御願ひをして私の家から入營してもらひました、旭青年訓練所に入所してゐました、私の子供が戰死した樣な感じです（寫眞は鶴長一等兵）

谷桃園郡守夫人

新竹州桃園郡守谷茂廉氏のマサコ夫人は十三日逝去、十六日午後二時より桃園公會堂にて佛式にて告別式を行ふ由

あすの天氣

臺北地方　東の疾風雨
北部地方　東の疾風雨
東部地方　北の和風曇時々雨
西部地方　北の和風晴
南部地方　北の和風晴



山西丸より（來航）北の風、晴、十六日午後一時基隆着の豫定（十五日著無電）

今晩の映畫

◆芳乃館（夜十一時半分上映）
1 文太郎大明神　午後六時四〇分
2 大毎ニュース
3 日支那事變ニュース　七時四〇分
4 人生の初旅　八時一五分
霧隱才藏　九時三〇分

◆新世界館（夜十一時上映）
1 パ社ニュース56報　午後七時〇分
珍藝放送の夕
2 赤穗義十間兄弟　七時五〇分
3 躍る百万両（前篇）　八時三〇分
4 躍る百万両（後篇）　九時三〇分

◆タイゲキ（夜十二時半上映）
1 座り込み結婚　午後六時四〇分
2 盤石の皇軍
日活ニュース
世界の動き
支那事變特報　八時〇五分
3 衣裳花嫁　八時四〇分

◆大世界館（夜十二時半上映）
1 夜霧の怪盜　午後七時〇分
2 黑風の一騎
3 そんなの夢
ニュース・タイムス
パ社ニュース　九時六分
4 支那事變特報　十時三〇分

◆國際館（夜十二時四分上映）
1 最後の駐屯兵　午後七時〇分
2 日活ニュース
支那事變ニュース　八時三〇分
3 平原兒　八時四〇分

塹壕夜曲
愛國流行歌　新戰場の夜は更く
一弘　一〇一
タイヘイレコード

STAR
上海陸戰隊
同胞三萬を護る無敵陸戰隊の歌
帝國海軍々樂隊
指揮　內藤清五
（S一一七四）
（十一月十日發賣）一枚・二圓十錢
支那事變記念レコード
征華の歌
金林香三詩・陸軍々樂隊曲
我等が精鋭皇軍を讃ふ軍歌！
松島慶三詩　海軍々樂隊曲
陸軍戶山學校軍樂隊
指揮　岡田國一
（S一一七三）
ビクターの
スターレコード

[illegible]の食養法
書店・食料品店にあり
台北・台南・高雄
越智商店

コステラネッツ
シンフォニック・ジャズ
★アルバム
世界一を誇る豪華オーケストラ饗宴！
ジーラ・ジーラ
階書よさよなら
メリーは小羊を持つて居た
レディよ！お寢み
私のソムブレロ
キユバナカン
十二月二十日迄
豪華アルバム及び解說書つき！
賣價 ¥5.45（共額加附）
總發賣元　株式會社　日本蓄音器商會
ラッキーレコード

梅毒淋疾
動脈硬化
華撫也
[illegible]

山內中尉の母
古賀政男・作曲
藤山一郎唄
あれよ、あの機
護國永久に生く
テイチク愛國レコード

感冒・頭痛…に
害のない、効めの正しい…
ノバポン錠
近代化學の生んだ新らしい解熱鎮痛劑―帝大病院で賞用される粉末ノバポンの錠劑です
効めが極めて確かなばかりでなく、害作用のないのが特徵です●
四十錠・一圓
各藥店にあり

ジーン・パーカー

世界大戰當時の獨逸婦人の活動

（上）

ブルノー・ビッター氏の話

戰時體制下の現在にあつて私共が最も考へなければならぬことは、銃後を護る婦人達が、如何に国の為に働き、戰時の家庭生活を処理してゆくかといふことであります。これは日本婦人に今課せられてゐる大きな試錬でありませう、もとより堅忍不抜の精神をもつてこの試錬を克服すること、信じますが、歐洲大戰當時一ばん苦盃を嘗めた獨逸婦人はその戰争中如何に過したかは大いに參考となることで、以下これについてブルノー・ビッター氏にお話を伺つてみました。

世界大戰によつて、獨逸は、二百万人の男子を失つたのです。しかもその中、百九十五万人といふものは、十八歳から四十歳迄の最も有能の人達であつたのですから残された婦人達の苦勞は實に並々ならぬものがありました。二百万といつても、これは戰死者だけで戰傷によつて身體の自由を失くした者をも加へるならその數は更に莫大なものとなりませう

父、夫、許婚者、息子等々を失つた戰死者の遺族の悲しみは言ふまでもないところですが、多数の男子を失つたといふ事は社會的にも亦色々な方面で無数の深刻な問題を惹起しました

例へば、男女の数の不均衡から來る、若い人々の結婚難といふ問題です。ベルリンでは兩性の割合が、男一に對して女六といふ時がありましたが、多数の女性の結婚難は、さうした障害の外に、一般生活の著しい窮乏といふ事も大きな原因でした

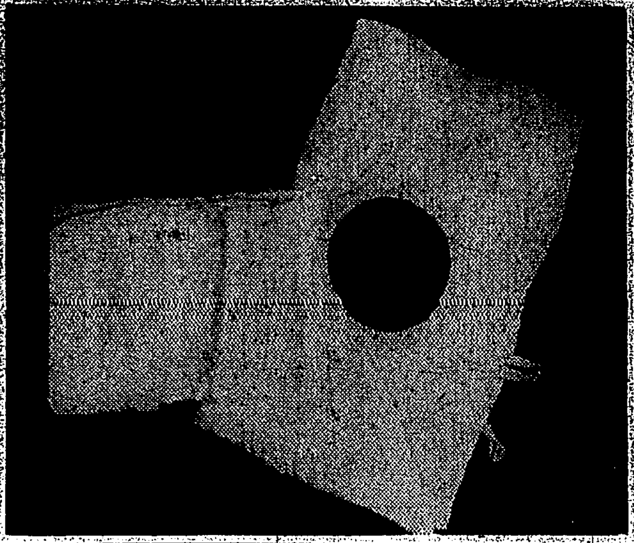
×

結婚の對手となる男子の大部分は、結婚生活に入る餘裕が全くない程に、經濟的に逼迫して居たのであります。さうした状態はいきほひ青年男女の道徳的墮落を生ずる事にもなりました

然し一方には、解決の見通しもつかない結婚難や、日にく生活を脅かす飢苦と戰ひながら勇しく銃後の祖國を守り續けて行つた澤山の女性のあつた事を忘れてはなりません

×

この人達こそは、獨逸があの悲慘な状態から抜け出して、今日の如き驚異的な復興を遂げるに力を致したのです。貨幣價値の暴落に依る国民生活の貧困は戰後に於て一層甚しくなつたが、この時代によく、忍苦と努力に依つてアルバイトザーム（勤勉）といふ獨逸婦人の眞面目が遺憾なく發揮されたのであります



日の丸チヨツキ　濠洲婦人の防寒用チヨツキですが純白の繻子で包んであつて眞中に日の丸がついてゐます、これなどは慰問袋に入れても喜ばれる物でせう

身の上相談

相談相手もなく思案に餘る精神上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係宛御申込下さい、電話や面會は御断りします

男心がわからぬ

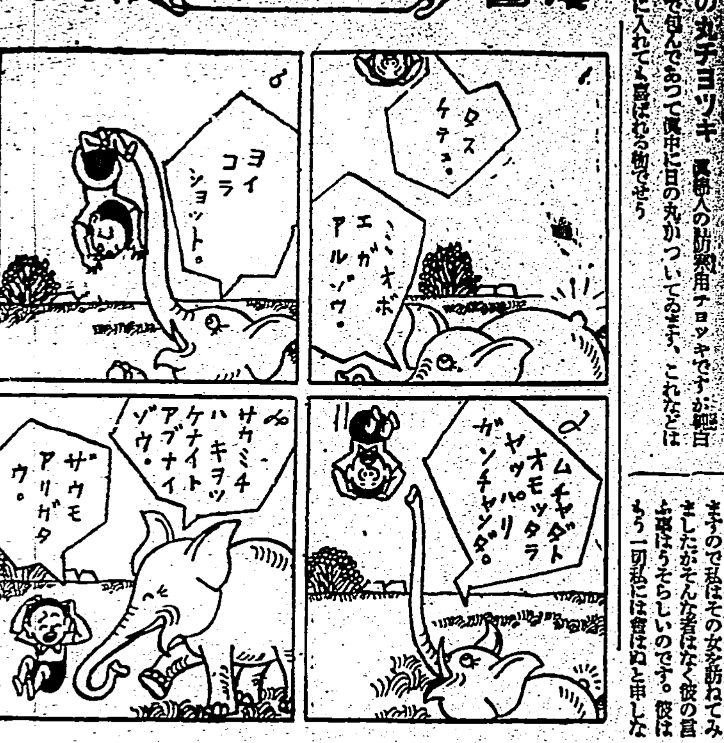
問　私は今年二十三の職業婦人でございます。半年程前からSといふ男性と附合ふ様になり今は別れる事の出來ない身體となりました。それはSに最後のものまで捧げてしまつたからです。Sは私より一つ年下ですが某役所に勤めてをり十分生活力はもつてをります。無口な正直な青年ですが、どうした事か最近になつて彼は別れ話を持出すのです。私としては別れる位なら一そ死ぬ方がました程ですけれどそれが彼の幸福の為なら諦めもしなければならぬとまで思つてゐますのに彼は別に女が出來たから君とは別れたいのだと申すのです。それでも私は諦めますから一度その女を紹介して下さいといふと某といふK町に住む者だといひますので私はその女を訪ねてみましたがそんな者はなく彼の言ふ事はうそらしいのです。彼はもう一切私には會はぬと申しながら私が彼の下宿の下まで行くと必ず二階からおりて來るのです、私には男心といふものがわからなくなりました。毎日毎夜悩みぬいて果ては死をさへ思ふ程です。どうしたらよいでせうか。私としては男に復讐する方法を知りません、今後とも此の儘片思ひに愛し續けていけるものでせうか。（高雄N子）

諦められるやうに祈れ

答　貴女には親御さんも兄弟もおありでせう、貴女ももう二十三、親といふものがどんなに朝晩其の子の仕合せを祈つてをられるか、年頃の娘を持つた母親といふものがどんなに我が子の身持について心を勞してをられるかといふ事が少しも判らぬことはない筈です。人の子としてほんとに自重して下さいよ。もう取返しのつかないことまでしてをるといふのだから貴女としては直截に相手を思切ることは出來ず又所謂初戀といつたやうなわけで思慕の情切なるもののあるは御無理ないことと思ひますけれど之は決して幸福な結果を見る關係ではないと信じます。貴女の思慕は宗教の信仰かなぞのやうにといふ男の良いところだけを胸に抱かせてゐる様子がたまらなくいぢらしいのです。純情の女性から貞操まで奪つておきながら別に女が出來たから別れるとは何といふ無責任何といふ無恥でせう。言語道断の男といはねばなりません。別の女といふものの實否などは問題でありません。眞ににくむべき心性です。彼の「男心」は十分わかり切つてをるではありませんか、一点の頼もしい所はない、復讐など考へるほど價値ある男ではありません、實際は貴女にも半分以上の罪はあつたのです一日も早く此の男が諦められますやうにと神々さまにお祈りしなさい（系）

臺灣　アッパレガンチャン

（38）


1
タスケテェ。
ミ、オボエガアルゾウ。
2
ムチャダトオモッタラヤッパリガンチャンダ。
3
ヨイコラショット。
4
サカミチハキヲツケナイトアブナイゾウ。
ザウモアリガタウ。

濕布にエキホス

純國産品

EXIHOS

包裝	定價
一〇〇瓦	.五五
二五〇瓦	一.一〇
五〇〇瓦	一.九〇
二瓩	六.〇〇

感冒、肺炎、氣管支炎、

咽喉カタル、肋（腹）膜炎、扁桃腺炎、神經痛、ロイマチス、腰痛、火傷、齒痛、百日咳、その他すべての炎症性、疼痛性疾患に**エキホス**を塗布すれば、局所の血液循環を佳良にし、充血、疼痛を輕減し、腫脹を去り、滲出液を吸收す。濕布の如く手數を要せず、一回の塗布にてよく長時間効力を持續す。

結核性肋膜炎、腹膜炎、淋巴腺腫（瘰癧）等には**エキホス**姉妹品たる**グアヤコールエキホス**の使用に依り効果一層顯著なり。

本邦に於ける代表的　消炎鎭痛巴布劑たる**エキホス**は全國の信用ある藥店には必ず備品あり

發賣元　株式會社 武田長兵衛商店　株式會社 塩野義商店
製造元　二巴合名會社　大阪市東區道修町

A-67

トバタ
発動機
揚水ポンプ
1½―10馬力
2―6吋
一手販賣店　三菱商事株式會社臺北支店　臺北市本町

おやつにビスコ
酵母菓子
慈母の味
偏食を補ひ　グンく伸ばす　酵母の力
帝大中村博士發明　專賣特許
（大阪・東京）グリコ株式會社

ニキビ　ソバカス　シミ取り
薬用クレーム　アモンパパヤ
●一號（普通）一・三〇
●二號（強度）一・八〇
パパイン酵素とアルモンドとの相乘効能による專賣特許品です
洗顔に愛用　粉末パパヤ洗粉
見本進呈　要三錢切手
東京市神田區松住町　株式會社 杉田商店

シッカロール
柔肌を守る

專賣特許　ウイジニン配劑
健胃整腸　皇國錠　勇剛強肥劑
他店で絶對眞似の出來ない藥！特約店急募申込あれ
大阪市浪速區惠美須町四　岩國桃仁堂
台灣の氣候常食に鑑み
日露記念〇〇丸を改良し
數倍の効力を有す

兵隊さんありがたう！
慰問袋にはキャラメル入れて兵隊さんに元氣をつけて上げませう
森永ミルクキャラメル
森永製菓株式會社
K-144

優秀治淋藥
リベール
心配するな、惑ふ勿れ
ぜひ一函を試みよ
五日分貳円
大阪市東區南久太郎町　竹村製劑所
各藥店にあり

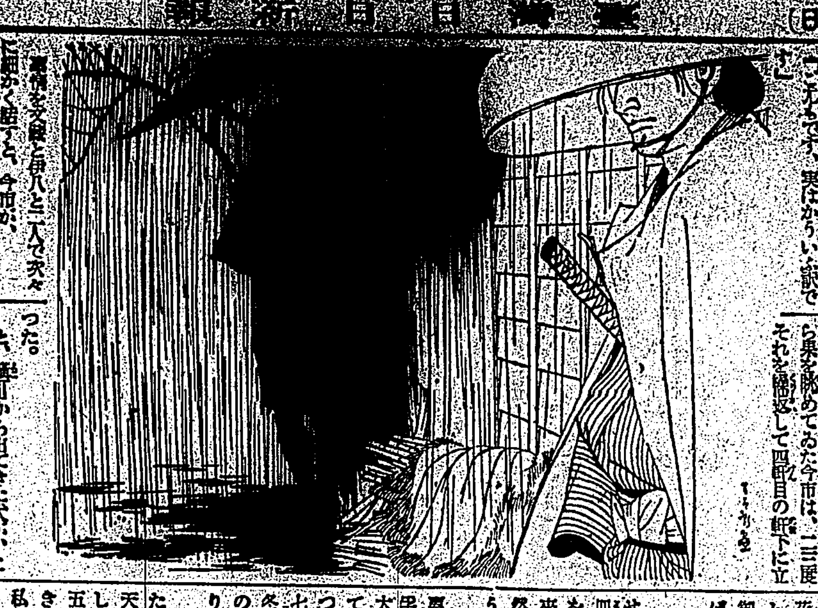
●今日は頭が重い　ボンヤリする
讀書や裁縫が進まぬ　こんな時にノーシンを●

一粒のヴィタミン含量從來の肝油五瓦に相當　美味　消化
ミツワ肝油ドロップス
¥.60　¥2.40
¥1.20　¥4.50

ナショナル　ランプ用
ナショナル乾電池

國定忠次 (106)

長谷川伸作
岩田專太郎畫



酌取りお鱗（四）

「今市さん。頭鉄が何とかいひましたか」

と、顔の色を変へて訊く文蔵の、顔を眺めて今市が、

「うむ云つてゐた。何処へ行くのかと訊いたら、ちッと探し者があるといふから帰つたのかと尋ねると判らねえから国定へは帰れねえとかう云つた。で、何を探すといふと、それは云へねえといふ。それぢや人を探してゐるのか品物を探してゐるのかと訊くと。男と女を探してゐるといつてゐたが――さうか。男は民五郎で女は、民さんの情婦でもあるのか」

「さうなんです。ねえ今市さん、此木に頭鉄がゐたのぢや、屹と、玉村へ足を入れたでせうね、いいえ、さ、頭鉄もだが民さんがです」

「俺には田の手閑きが呑みこめねえ、訳を聞から、で、ねえと判断のつけやうがねえ」

「つまりです、実はかういふ訳で事情を文蔵と伊八と二人で交々に細かく話すと、今市が、

「ふうむ――と、頭鉄は伊八[illegible]へ行つて、お鱗の行つた先を聞いたに違えねえ、とお鱗は玉村の宿に居るんだね、屹と、そこへ民五郎が追つかけて行つて無事に首尾好をしてゐりや頭鉄があすは引ッぱつて帰へるだらう――」

顔の間に皺を立てて、ぼつりぼつりといふのを聞いて伊八は、

「さう聞いて安心がやつと出来ました」

「いや、安心といふ訳にやゆかねえ、民五郎が玉村に居なかつたら頭鉄のことだから容易に帰つてこねえだらう」

「さういふと。民さんがどうかしたとでも」

「文蔵さん、お前の賽ころ占ひでは不首尾ずッと出てゐたんだと云つたねえ。不仕合せと、そいつが言つてゐるかも知れねえなあ」

「えッ」

と、文蔵と伊八とが顔見合せるを他所に今市は、今解いたばかりの草鞋を結びはじめ、

「これから俺が行つてみてくるとしよう」

「玉村へですか。伊八、俺達も行かう」

「いや文蔵さん、お前方はいけねえ、第一足が違ふよ。お前方と一緒では草臥れて仕様がねえ、ははは。足がのろいのにお付合ひはご免さ」

文蔵、伊八も可成り達者な足だが、到底、今市の神速には及ばざること遠い、[illegible]、

「おやッ、雨がぱら付いてきた」

「あ、成程。雨具は？今市さん」

と、伊八がいつた時は桐油紙を今市が手にしてゐた。

「この雨で花も色が落ちるね、帰りは朝になるから寝て待つてゐてくれ」

ずいと外へ出た今市は。文蔵、伊八が見送るうちに、見るみる遠くなつた。

国定から玉村へ、脇路ばかりをとる今市ではない、勘が利き次第田地、森、林と突ッ切り突き抜け小川の流れなどは苦もなく飛越え玉村の宿へはひつたのが夜中、どこを見ても往来はがらンとしてゐる。

灯が往來まで漏れてゐる人家の軒下に佇んで、ちッと道路の果から果を眺めてゐた今市は、二三度それを繰返して四軒目の軒下に立つた。

と、横町から出てきた犬が、こいつ怪しと吼えんとする、鼻先を制して今市が犬の脇腹を鮮やかにつかつた。犬は訳が判つたかの如く、今まで垂れてゐた尻尾をぴンとあげて行つてしまつた。

文蔵が探してゐたのは酌婦である。かうして勘が付いてたので、古い看板のうどん屋の裏へ廻ると果して酌婦の張り番か、軒の雨落ちを気にしながら立つてゐた、で馴れ〳〵しく

「久公」

「えッ？。お前さんだれだ」

「ほう、久公ぢやなかつた。俺だよ。俺か判らねえぢや申訳なからうが」

「へ？」

「それはさうと、狂人を見掛けなかつたか。頭の毛もくちや〳〵の変な奴さ」

「ああ、そいつなら今し方、北の方へぴしよ濡れになつて行つたけど。お前さんどなたで？」

雨に濡れながらも気がついて問返す張り番に、今市が、

「親分に俺の人相をさういへば判る。宜敷いへ」

先づ、これで、頭鉄だけは無事であるらしい。

カナ文字ニュース

△十三日 嘉定ヲセンリヤウシタ ワガ軍ハ 三方カラ 太倉ヲ ハウヰ シテ 十四日朝 太倉ヲ センリヤウ シマシタ 一方 崑山城ニハ ワガ新鋭部隊ガ ニクハク シマシタノデ 敵ハ コンランニ オチ入ツテヰマス

△ワガ石田部隊ハ 十三日 大黄河ノ 北岸ニアル 敵ノ 要地タル 濟南城ヲ コウゲキ 午後三時半 ツヒニ センリヤウシテ日章旗ヲ カカゲマシタ

立華の起りは 聖徳太子の御創案

◇華道基礎學講座（一）◇

草木各々個性あり、その個性を生かし、華道精進者の個性これに全く融合して、松は松らしく、梅は梅らしく、すべて"らしく"形を整へるところに斯道の妙諦があります

時は今、菊香高き十一月、南国の秋とはいへ、いろいろの催會賑はひ、などが行はれることでありませう、かかる折柄、それらに縁り深い華道神髄を御紹介いたしませう

次に掲げる一文は大日本華道學院長熊谷八仮氏の起草にかかるもので、同学院幹部太田紅村氏の御好意に依りここに御披露する次第であります

華道は皆様の御存知の如く、佛を供養するために花を捧げる事より端を發して居りますが、何故に花を捧げる事が供養になりますかと申しますと、此の事は遠く釈尊御在世の当時より申上げなければお判りにならないかと存じます

×

大聖釈迦牟尼佛は非常に花を愛せられ、散り落ちた花弁を集めて皿に水を盛りそれに浮かべて寿命を保たしめた程でありますが、元来宇宙間の森羅万象は悉く大自然の微妙な采配によつて存在を全うして居るものであります。即ち天は父の如く日光や雨露の恵みを與へ地は母の如く、万物を生み育つてであります。此の二つの大きな恵みより離れた場合は、総ての物が忽ちに宇宙間の存在を失つて終ふのであります、また天の九曜と地の九地と相通じて春夏秋冬土用の五氣を生じ、森羅万象その生長収蔵の全きを得るものであります。

この大徳あつて生を全うする私たち、即ち天地間の子たる人間は天地の物をあはれみ給ふ心を心として天道に順應し、仁義禮智信の五常を守つてこそ始めて人道の完きを得る訳であります、けれども私たち人間は動もすると此の大道を踏み違へて大自然の御心に叛くことが往々にしてあるものであります。

×

然るに草木にあつては断じて宇宙の真理に反するが如き事なく、春暖の氣に逢つては千草萌え出で万花妍を競つて咲き誇ひ、秋に至れば何れも結果落葉を示すこと、大自然が為す其儘に順應して些しも私が無い、其処に草木の貴さがあります。

されば釈尊は常に因果輪廻の眞理に随ひ、少しもこれに悖ることなき花をもつて、宇宙の最初最後のものとなし、青黄赤白黒の花色を五根五體と見、春の花秋の葉の凋落をもつて盛者必衰の理を説きはすものと観じ、千草万木の花を手折つて道場をかざり説法を始められたと申すことであります、釈尊は初部の華厳経より一実の法華経に至るまで、悉く華を縁として説かれた程で佛と華とは實に離るることの出来ない因縁あるものであります。

此の御佛の心を汲んで朝な夕なに清らかな花を御佛前に捧ることは、佛をお慰めすることになり、供養の意に叶ふことは申す迄もありません、佛に花を献ずることは上述の如き意味でありますが、此の献花と我が華道とは如何なる因縁があるかと云ふ事に就て少しく申し述べて見ませう

×

私達の今日をさめて居ります生花は、立華より出たものである事は御承知の通りでありますが、其の立華は如何にして生まれたものであるかと申しますと、此の立華の起りは聖徳太子の御創案に基くものとされて居ります。

太子は非常に御聡明なお方でありましたが、當時の遣唐使であつた小野妹子大臣が唐に於ける挿花の法を言上致しました処、太子は種々御工夫になり或時は一花一葉を瓶に挿し、又は松と梅とを双瓶に盛つて陰陽和合の理を示され、或は神儒佛の三法に基づいて三枝を基本とする挿花を試みられ、遂には釈尊の瓶華観を基礎とし、須彌山になぞらへて七つの瓶に花を盛られ、各枝に天地人日月星の名を附して、その変花を求められたと云ふことで、これが後世七つの道理をもつ壮厳華麗な立華の生れ出た本源をなしたものとせられて居ります。

色や用布なども 落着いたのが良い

軸物表装の傾向

秋になつて話題に上るものに、軸物の表装があります。今年は事変の影響で、遠慮氣味ではありますが、それでも、お正月が近いので、さつぱりした氣分を味はうと、表装も多少の動きを見せてゐるやうです

○○

最近では時局の反映で、"一文字"上下一文字の縁に、ピカ〳〵の金襴を用ひる風は少くなり、あつさりした色調のものが迎へられて来ました

○○

金襴に燻昔とか、茶とか、落ちついた色のものが歓迎され、茶の軸のやうなものでも、無地物が無難であるといつて、多くこれが用ひられるやうです

○○

表装の用布も、一時、人絹が幅を利かした時代もありましたが、近頃では、緞子などに押され氣味です、緞子といふのは絹入り織布のことです

○○

軸木も南洋向の紫檀がひろく愛用されたが、近頃では、象牙、角などのいろ〳〵の製品、中には象牙まがひの特殊な加工品なども現はれました

○○

軸木の芯には、鉄棒の入れてあるのが本格のものですが、どうかすると、鉄棒の入つてゐないものもありますから、求める時に注意しないといけません、風鎮は以前は水晶を使つたり、その他いろいろの石を使つたりしたものが流行した時代がありましたが、この頃はとんと廃れた形です

○○

どちらのお宅でも、殊に新築でもされた方がちよつと氣になるのは、風の通つたびに、軸物が床の壁を擦り、壁を台なしにすることです、そこで、擦れるのは多く中央の部分ですから、その部分に止釘でラシヤのやうな布を壁にあてておくのも一法だといふ人がありますが、これはまだ試した人は少くないやうですが、効果があるものならば、これも一法、また天辺から軸の裏に布を下げるのも一法でせう

海外小話

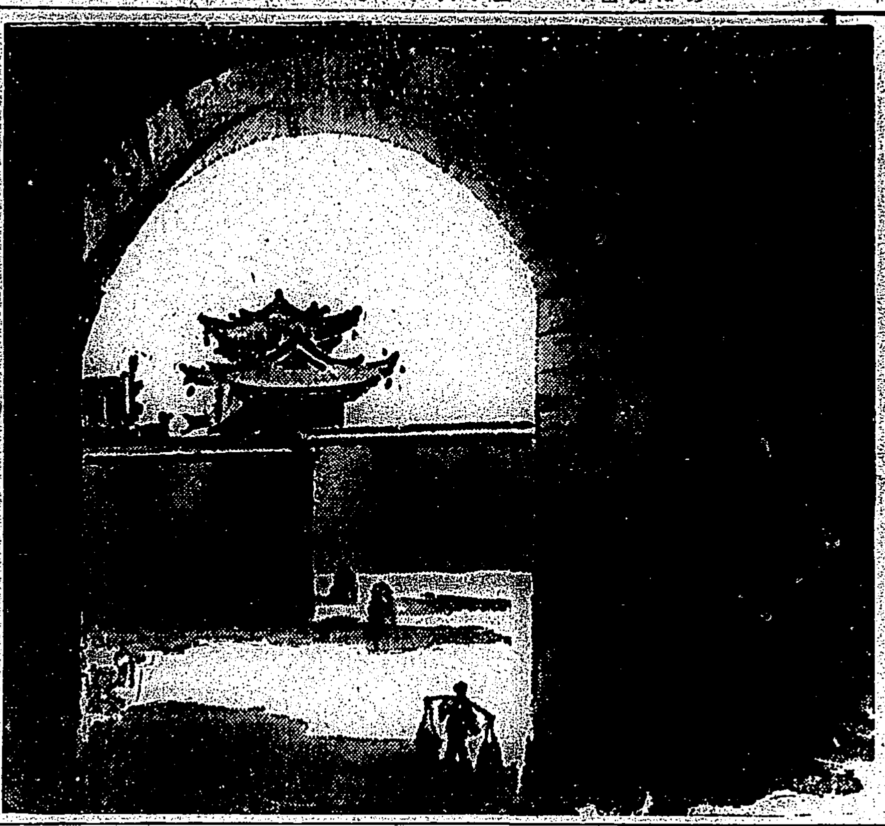
シユタールヘンベルグ公返り咲く

嘗て「護国團」（ハイムウエール）の首領としてオーストリア政界に飛ぶ鳥も落す權勢を誇つたシユタールヘンベルグ公は、一年前その提唱するファシズム的政策がシユシユニツグ首相に容れられず下野して以来政界との交渉を一切断つて悠々自適の生活を送つて居たが、去る十月二十日リンツに於て行はれた前「護国團」員の會合に突如出席して、オーストリアの政情につき一場の演説を試み、「オーストリアの行くべき道は全體主義にある」旨を主張し、この実現のために今後挺身、運動を行ふ旨宣示した。

獨伊兩国の接近に神経を尖らせつつあるオーストリア政府は、シユタールヘンベルグ公の華々しい返り咲きに重大関心を抱き、公今後の動靜を注視すると共に、護国團の再結成その他不穏な行動については、断乎弾壓を加へることとなつたが、その成行きは頗る注目される。

北支戰線を描く ……大同の石炭賣り……

繪及び文　日本美術院同人　眞道黎明



チヤハルと山西は種々の鑛物が無盡蔵に埋れてゐるさうであるが、中にも大同附近の石炭は有名である。日本の田舎で山から薪を切つて町に賣りに來るやうに、大同では近くの山から石炭を掘つて、或ひは驢馬に付け或ひは肩に荷つて町に賣りに來る。百斤二十錢（一噸六円）といふ安價で如何に石炭が豊富であるかが想はれる。

有段者十人抜碁戰（第二次戰 七局の五）

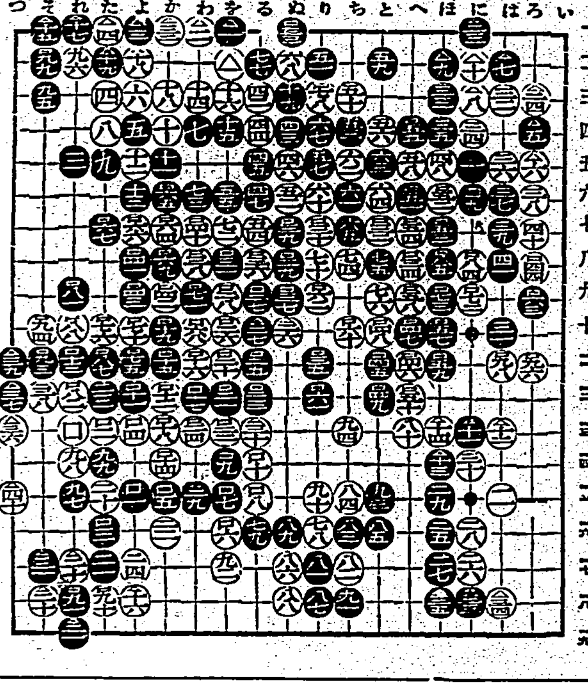
本社主催

森氏一勝

先番　二段　森　一石

先互　二段　木山条次郎

（四目半コミ出し）



●□六一り一二　○□六二り九
●□六三ろ九　○□六四か七
●□六五か六　○□六六と七
●□六七た七　○□六八わ一
●□六九か八　○□七〇よ一〇
●□七一わ九　○□七二に九
●□七三[illegible]　○□七四か九
●□七五よ一　○□七六た一〇
●□七七わ九　○□七八[illegible]
●□七九ぬ二　○□八〇か九
●□八一れ九　○□八二れ一二
●□八三わ九　○□八四に八
●□八五た八　○□八六か九
●□八七た一　○□八八れ一〇
●□八九わ九　○□九〇た一八
●□九一れ一八　○□九二わ九
●□九三そ一　○□九四て一〇
●□九五わ九　○□九六ろ一一
●□九七か九　○□九八は一一
●□九九そ二　○△一を二
●△一を一　○△二わ一
●△三よ一　○△四た一
●△五ろ四　○△六ろ五

[illegible]

二四四手止　黒盤面四目半コミ差引一目半勝

評解　鷲頭信恭

白一八八を與へ「一〇二」に粘きたる時「一一」に出たならんに白は[illegible]大石に留めを刺さば白の優勢疑ひなかりしならんに白は[illegible]を怠りて局面を逸したるは惜むべし

映畫と講演の夕　十四日から市公會堂で開催

氣隊及び出征軍人家族慰安の映畫と講演の夕は十四日から市公會堂で開催中だが寫眞・田上兩氏の熱弁と興味ある臨澤山の映畫とに人氣を呼び大入滿員の盛況である、尚十五、六日の午前には軍隊を十八日には白衣の勇士達を又連日出征軍人家族多数を招待する由で一般入場者も大に歓迎すると（寫眞映畫觀覽中の兵隊さん達）

臺日漢詩壇

選者　魏清德

[illegible]　謝尊五

[illegible]

夜雨　鄭啓明

[illegible]

遠山

[illegible]

其二

[illegible]

感獄　杜小侯

[illegible]

メガホン

▲十一月十日御成町の火事に活動した市[illegible]青年團に厚く感謝す（獻身倶樂部）▲大安十二甲二七七方面にもゴミ取りを廻して下さい（一主婦）▲特志看護婦を志願したいのですが方法を教へて下さい（看護生）▲内田氏の[illegible]に大賛成、個人は勿論、銀行會社も門松代そつくり献金しよう（百發飛行機生）▲日伊交驩映畫の夕を一般市民の為にも開催して下さい（國粹生）▲去る八日梓山の田三箇と鋼付印袋を拾ひました（都邉り高峯生）▲十一日入港の高砂丸に乗船の五十四、五才の御婦人さん傘をあづかつてゐますから取りに來て下さい（市内入船町二丁目二八勝田）

商況（十五日）

臺灣正米市場前場

[illegible]

大阪期米前場

[illegible]

東京期米前場

[illegible]

神戸期米前場

[illegible]

東京短期前場

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

大阪株式短期前場

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

東京銀行賣株

[illegible]

潮汐（十六日）

[illegible]

臺日案内

書籍　最近支那大地圖　臺北榮町一　新高堂書店

内地土産　白柚とジャボン　臺北市本町二　武藝多矢野商店

寫眞　8ミリ　小型映畫時代來る　コダック撮影機　臺北市榮町　西尾商會
カメラと材料　フタバ寫眞機部　臺北市榮町二　電話七〇〇番
超スピード全島唯一の十五分間寫眞　榮町（臺日前）不二寫眞館

時計眼鏡　メガネ専門日光堂　臺北市表町二ノ一〇　電四九五七番

料理屋　生そば　壽司　辨金京町店

洋服　チトセ洋服店　臺北市大和町四丁目

金融　金融　臺北市京町二ノ一七　電五二九六番
月賦定期　金融　若竹町二丁目　七福商事合名會社

藥種商　喘息に　ワンカ　臺北市榮町四ノ一一
肋膜及び肺病に能く效く　特藥ツベルキユール　臺北南門町

世帯道具　無煙風呂釜　井商會　臺北市本町二ノ一

雜件　組立式の文化卓子椅子　型錄進呈　臺北榮町　日本樂器
風味の良い　平戸の摺味噌
みのむし　文化傘別仕立　和傘本舗　臺北元園町　市役所前

サンゴ細工　カネイ　臺北西門町
薄毛シャツ　メリヤス　アンダーシャツ　村井
ショール　マフラー　グレース　トリコツト　モーレー　村井
毛布　絹綿蒲團　新荷豊富　村井
花瓶花臺　寶セツト　村井
冬シャツ　靴下　其他冬物雑貨全部　村井

キユーピー　マヨネーズ
試験準備のお子達に美味榮養のサラダ料理を

臺灣六法　定價四圓　送料三十錢　發行所　臺灣日日新報社

イカリソース
日本一の産額
日本一の信用
日本一の品質

大阪高津表門筋
昔も　今も
効能で賣れる　七ふく
効　逆上を引下げ便通をよくし
能　ばい毒りん病諸毒を下す
「ニセモノ」あり御注意
本家七ふくや伊藤長兵衛

●惡醉でいつもお苦しみになるには及びませぬ　もしアタマに　ノーシンの御用意さへあれば！●

VEGELINE
斯界に多大の信用と愛用者を有する
毛髪養料　ベジリン香水
フケ及びカユミを去り脱毛を防ぎ常に艶やかに全く用後は爽快無比也
各百貨店、和洋品店、化粧品店、藥店にあり
東京市日本橋本石町三ノ二
本舗　リーガル商會

體位増進の秋
風味と云ひ　香氣と云ひ　滋養と云ひ　これに過る物ありません
純良白葡萄酒
美味滋養　白玉ホワイトワイン
絶對に着色せず
日本醸造元　江井ケ島酒造株式會社　兵庫縣

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

編輯兼發行人 佐々木 薫

臺北市榮町四丁目廿貳番地 發行所 臺灣日日新報社

本紙定價 一部六錢・一ヶ月前金壹圓五拾錢・三ヶ月同四圓貳拾錢・六ヶ月同金八圓・壹ヶ年前金拾五圓也（日本國内及支那送料不要）

廣告料 普通欄一行十五字 壹圓 特別 一行 同 貳圓 記事欄入一行 同貳圓五拾錢

振替口座 臺北二〇番 電話 代表 五八〇一 [illegible]

社説

日英間の感情 尖鋭を憂ふ

極東の大局は何を物語るか

一

日本と英國との多年に亘る友好關係が、今度の支那事變によつて反目と反感とを呼び起すに至らんとしてゐる。其間、ヒユーゲツセン大使の負傷事件及び之に類似の事件もある一方、英國側の支那援助と見らるる事實も、香港、上海を中心に現に南上遮斷を免かれてゐる方面に於て相當活發に策動されつつあるやで、心ある人々の間に於ては深甚な憂慮を禁じ得ぬ程の情勢にある。若し此の情勢が勢ひの赴く儘に打ち棄て置かれるとしたなら、何時いかなる場合に、不測の不祥事等が兩國間に勃發するやも測り知られない。固より斯る事柄は、上層部に於ては固く戒めてゐるのであらうが、戰時下に於ける現地の諸事情より與て、時に上意下達が円滑に行はれぬ場合もあるであらう。斯る場合に於て〝反英〟又は〝反日〟の氣分や空氣が、豫想外の事端を捲き起さぬとは何人か斷言できよう。

二

有體に云ふと、此頃の英國は、支那に於ける自國の權益を絶對無上のものと考へ、この爲めに手段さへ擇ばずに支那を援助し、反對に日本を抑へんとするかの如き態度を執つてゐる。英國の言論界亦政府の此方針を支持して、今日まで可なり反日的な論陣を布いて來た事は、同國政府の政策と相俟つて吾等日本國民の甚だ不快とし且つ不滿足に感ずる所である。上海戰線に於て、支那軍の陣地と英國軍隊の共同租界警備區域との間に、一脈相通ずるものが有つた如きは、百の陳辯をなしても英國の支那援助の事實を否定し得るものではない。又香港が自由港であるとの口實の下に、支那大陸への物資輸入を暗に若くは公然と援助し百方便宜を與へ來つたことも天下周知の事實である。その他、英國の最も得意とする外交陣を動員して、國際聯盟に、九國條約國會議に日本を盛んに糾彈しつつあることも世人承知の通りである。斯くの如くにして、果して日英兩國の親善關係は、今後よく持續し得らるるや否。

三

實を言ふと、在來わが國には、親英主義者なるものが相當有力層の中に多く見られ、何か事ある毎に、昔の〝日英同盟時代の夢〟を再現させようとしてゐた。しかし今次の支那事變に依て、日本に於ける親英論者は全く其の立場を失ひ、恥でも其の主義を改めねばならぬ樣な狀況にある。これも日英兩國のためには甚だ不幸かつ遺憾な事柄と言はねばならぬ。尤も英國も最近になり、日英兩國民の感情尖鋭化を憂慮する一方、例の日獨伊防共協定の成立による外交陣營の大局的見地等から、幾分我國に對し特別寛大の眼を注ぐ樣になつたらしく、今後余り眼に餘る樣な行動には出まいと思ふ。吾等は率直且つ端的に言ふ。英國が極東に於て大局に眼を着け出し來た事は同國のため慶賀に堪へぬが、此の機會に於て更に世界の大勢、特に東洋の實情に對し認識を改める必要あること是れである。もつと有りの儘に言ふなら、英國はアジア大陸に於て、取り分け極東方面に於て日本を敵として能く英國の此方面に於ける諸權益の確保と其の安定とが期し得らるるや否である。以上は、餘りに眞實を言ひ過ぎたかの感が無いでもないが、日英兩國の歴史的なる國交を想ふ時、吾等は言論人としての立場から現在兩國の間に存在する危機を默視するに忍びず、信じ感ずる儘に直言する次第である。英國の朝野は〝日英國交の取戻しは、今からでも晩くは無い〟ことを切實に感得すべきである。

南京に大動搖

水陸兩路に避難民

蘇州は完全に包圍

【上海十五日發同盟】揚子江沿岸上陸〇〇部隊の常熟占領の結果蘇州城は完全に我軍の包圍下に陷り南京、蘇州間の電信、電話は完全に杜絶するに至つた、十五日午後四時確實なる消息に依れば蘇州既に危ふしとの報に南京の動搖はその極に達し十五日朝來水路に依り上流に向け避難せんとする市民は下關に殺到し又南京、蕪湖街道は避難民の大群で充滿してゐる

江蘇の死命を制し 敵の第三陣を脅かす

常熟の攻略によつて

【東京十五日發同盟】十五日朝我が佐藤、高橋、永津諸部隊が占領した常熟は蘇州より北約十里、揚子江南岸より水路約十一里、太倉に十八里、四方に運河及び河流を通して水利に富んでゐる、人口約二万で城内廣く、市街は城内西南部に在り東方には虞山といふ小山があつて麓に興福寺があり、大西店街は城内西門街で[illegible]藍石で鋪裝され小車、驢馬が陸上交通の主要なものである、特に米及び棉花で出廻期には一時に集荷し取引が盛大なため旅館業が發達して商業都市としては見るべきものがある、上海の繁榮はこの常熟を中心とする大平野の豊麗に依るもの多く常熟の攻略は江蘇平野の死命を制するばかりでなく無錫、江陰の第三陣を脅かしてゐる

潰走兵を猛追擊

【常熟十五日發同盟】猛進を續ける揚子江南岸上陸部隊佐藤部隊は十五日午前九時三十分常熟に突擊その一角を占據して日章旗を翻へしたが永津、高橋兩部隊も之に續いて市街に突入し敵は武器、彈藥、糧食及び多數の死體を遺棄して西北及び西南の二路に岐れて潰走しつつあり我軍は猛追擊戰に移つた

湖沼地帶の敵軍は 殲滅か敗退の運命

蔣介石自慢の堅陣潰えて

【上海十五日發同盟】揚子江南岸より常熟、蘇州、嘉興を經て杭州灣に至る南北の地帶は東方に無數の湖水と沼地を控へ天然の要害をなし堅固なトーチカ陣地と大兵を配備して蔣介石が苦心のヒンデンブルグラインとし世界に誇り不落の鐵壁陣地として鳴らされてゐた防備を堅めてゐたのであつたが、文字通り朝に一城、夕に一塞を拔いて進擊する皇軍の前にその前進根據地としその重要據點であつた崑山も十五日早朝をもつて我軍の手中に歸し、揚子江南岸上陸部隊の前進常熟攻略と、忽然として姿を現はした岡本部隊の平望鎭占領に依り脆くも左右兩翼を擊破され北、東、南の三方面より湖沼地帶に追詰められた中央軍は今や全く殲滅されるか血路を拓いて敗退するかの重大岐路を彷徨するに至つた訳で、茲數日中の戰局の動きは非常に注目されてゐる

嘉善を完全に占領

嘉興は猛火に包まる

【金山十五日發同盟】〇〇兵團の野副、藤山、小野の各部隊は頑強に抵抗する嘉善の殘敵に猛擊を加へつつあつたが敵は遂に支へ切れず嘉善は十五日拂曉完全に我軍に歸し日章旗を翻へした

【上海十五日發同盟】十五日拂曉嘉善を完全に占領した野副、藤山、小野、片岡各部隊は直ちに追擊に移り、午前九時二十分永興橋（嘉興東方十キロ）を突破一擧に嘉興に向つて肉薄しつつあり、敵軍事輸送の幹線として死守する嘉興の占領も目睫に迫つた、猶嘉興の敵陣は我が爆擊の爲め猛火に包まれてゐる

蘇州の陷落も 最早目睫の間

杭州灣上陸部隊の 神速果敢なる進擊

【上海十五日發同盟】上海大平原最後の要害崑山は遂に落ちた、この成果を收めるまでには江南に作戰する皇軍各部隊の協力も然ることながら、岡本、竹下、長谷川各部隊の〇〇健兒の疾風枯葉を行く如き神速行動が最も與つて力あつたことを忘れてはならぬ、十一月六日杭州灣北岸に上陸以來金山、松江、青浦とひた押しに北への**進軍**を續け、十四日朝には早くも崑山に迫つたのである、六日杭州灣上陸以來、上は老齢の部隊長以下全員馬も無く車も無く二十台の兵と共に船から降り立つた儘の地下足袋に背嚢一つの姿で强行軍に次ぐ强行軍は見事酬いられ崑山縣城攻略の榮冠は我軍〇〇部隊の頭上に輝いたのである

【上海十五日發本社特電】我が快速果敢なる〇〇部隊に依り完全に占領された崑山は西方に湖沼地帶を控へ、東方には太倉の要害を連らねて揚子江に到る大クリーク陣地の要を扼し上海平野を一瞬の裡に收むる一大要害で、敵も此の地點の**防衛**には兼ねてより全力を盡し、極めて堅固な要塞を構築してゐたもので、南翔、嘉定の防禦線を放棄した敵も茲では最後の決死的抵抗を試みるものと豫想されてゐた、其の崑山が破竹の如き急退却の前に斯くも脆くも我が掌中に歸した結果、敵は今や湖沼地帶の後方に下り蘇州の線にへばりつくの外はなく、是を戰略的に見る時は崑山の占領は杭州灣上陸部隊の一部が十四日太湖東南岸の要地平望鎭を占據した事と相俟つて敵をして太湖以東に於ける如何なる企圖も抛棄せしめるの態勢を確實ならしめ**蘇州**の陷落も最早目睫の間に迫るに至つたのである、即ち相次ぐ要衝占據に休息の遑もなく一轉して一大追擊戰に移り、他方白茆口上陸部隊の猛進擊により僅に二、三日の間に太倉、崑山の要地を攻略し、更に常熟の堅陣をも難なく攻め落した、敵が難攻不落を誇つた崑山が斯くも脆くも我が手中に歸した重要原因は作戰開始以來大なる犠牲を拂ひ猛攻に次ぐ猛攻を以て羅店及び大場を中心とする上海北方陣地戰にジリジリと敵を壓迫、その心臓を寒からしめた事を忘れてはならぬが、何も蘇州河の線で上海死守を試みる頑敵に對し杭州灣北岸より疾風迅雷敵前上陸を決行、僅か旬日を出でずして長驅百數十キロを**進出**し、松江、青浦、蘇州河を越えて南翔背後に出た〇〇健兒の奮戰が相次ぐ敵陣瓦解の直接的動機を爲したものである事は云ふ迄もなく、その後に於ける白茆口上陸部隊の戰鬪と共にその功績は永く世界戰史を飾るだらう

楊州を爆擊

【上海十五日發同盟】海軍航空〇〇部隊は十五日午後二時過ぎ楊州に敵機ありとの情報に接し大擧爆擊隊を連ねて楊州に飛び敵機を搜索したるも一機も見出さず楊州各軍要軍事機關を爆擊して無事悠々歸還した

蘇州を猛擊

【上海十五日發同盟】十五日正午我が精銳渡洋部隊〇〇機は强風を衝いて蘇州に飛び敵主力陣地を猛擊百彈を浴びせ多大の打擊を與へた

蔣介石の訓令も 戰線では反古

沒落は目睫に迫る

【上海十五日發】蔣介石は打續く敗戰に堪り兼ねたものと見え全軍の將兵に『戰鬪の要諦』を訓令し『兩翼を包圍せられた時は中央突破を敢行して兩後翼の擴張に努めよ、支那軍は自國内で戰ふ地理案内に詳しいのみならず常に大軍を擁してゐるのであるからその一翼或は兩翼を包圍突破せられても全軍混亂し總退却をすると云ふ樣な見つともない事をする勿れ、第一支那軍の攻擊精神は不十分だ』と喝破してゐる、また『逃る時は交通機關即ち鐵道だとか重要道路を徹底的に破壞して逃げよ、今迄の戰鬪の經過を見ると交通機關も大分破壞してゐる樣だが日本軍は依然として輸送に過剩に何等の支障を來してゐない樣だ』と云つて居るが案山子に鐵砲を持たした樣な支那軍隊の攻擊精神と光輝燦然たる皇軍の攻擊精神とを全然同一に考へるのは認識不足も甚だしい、諺にも『ローマは一日にして成らず』と云はれて居るが皇軍の攻擊精神は一朝一夕に培はれたものではない、從つて軍の優劣には兩者に甚だしい懸隔があり之が今日の皇軍の輝かしき戰勝を齎した所以のものである、事を成すには先づ自己の力を計つてからなすべき根本原則を知らない譯ではあるまいが蔣介石の支那軍に對する過信が今日抗日となつて現れ今次の紛爭を惹起するに至つた事を考へると蔣介石の政權沒落は別としても支那四億の民衆が塗炭の苦しみをさせられてゐる事は全く氣の毒に堪へない

勅語に奉答

二軍司令官から

【東京十五日發同盟】十五日午後六時陸軍省發表、去る十一月十二日優渥なる勅語を拜したる植田軍司令官及び寺内軍司令官の左記奉答は十五日參謀總長宮殿下より上聞に達せられたり

植田軍司令官よりの奉答

優渥なる勅語を下賜せられ恐懼感激の至りに堪へず臣等益々[illegible]時局に即する作戰警備を完整し誓つて聖旨に副ひ奉らむことを期す

寺内軍司令官よりの奉答

軍の將兵に對し特に優渥なる勅語を賜ふ臣等感激措く所を知らず[illegible]

海軍定期進級

十二月一日に發令

【東京十五日發同盟】本年度海軍定期進級は十二月一日附を以て發令されるが主なるもの左の如し

御進級

少佐 朝融王

中佐に御進級

進級

少將 平田 昇
同 片桐 英吉
同 太田垣富三郎
同 前田 政一
同 和田 專三
少將 近藤英次郎
同 原 五郎
同 小林宗之助
同 吉成 宗雄
同 福本 金午
同 桑田 市郎

中將に進級

大佐 久保田久晴
同 吉田 庸光
同 寺田 幸吉
同 市村 久雄
同 [illegible]
同 [illegible]
同 [illegible]
同 [illegible]
同 [illegible]
同 鋤柄 玉造
同 高須三二郎
同 佐倉 武夫
同 高崎 武雄
同 春日 篤
同 樋口修一郎
同 茂泉 愼一
同 坂部 省三
同 木幡 行
同 佐藤正四郎
同 越智 孝平
同 小林 仁
同 副島 大助
同 松浦永次郎
同 牧田覺三郎
同 戸塚道太郎
同 河瀨 四郎
同 井上 保雄
同 [illegible] 生起
同 田結 穰
同 和田 操
同 遠藤 喜一
同 伊藤 整一

少將に進級

機關大佐 樋端 秀雄
同 隈部富士雄
同 鍋島 茂明
同 三戸 由彦
同 御所 靜
同 山田 清
同 柳原 博光
同 [illegible] 金矢

少將に進級

軍醫少將 向山 美弘
同 田中 朗三

軍醫中將に進級

軍醫大佐 保利 信明
同 小金井良一

軍醫少將に進級

主計少將 武井 大助
同 荒木 彦弼

主計中將に進級

主計大佐 鈴木 孝
同 桑久保[illegible]
同 南里 昌治

主計少將に進級

造兵少將 日高 鋼一
同 山家 信次
同 谷村豐太郎

造兵中將に進級

造兵大佐 村瀬東十郎

造兵少將に進級

造船少將 桑原 [illegible]

造船中將に進級

造機少將 [illegible] 忠[illegible]

造機中將に進級

馬公要港部の異動

【馬公十五日發】馬公要港部關係者異動は十五日附左の如く發表された

△荒木先任參謀は〇〇へ△後任は〇〇から飯島參謀少佐△防備隊松田少佐は〇〇へ△〇〇から防備隊水雷長に鈴木軍△長谷川通信參謀は〇〇艦通信長に△後任〇〇から玉井義秋大尉

上海から見える

軍事施設は全部潰滅した

〇〇平井先任將校談

【〇〇十五日發】十五日朝〇〇に歸つた陸戰隊〇〇平井先任將校は〇〇で次の如く語つた

海上封鎖なんて任務に在官から云ふと實に重大であるが[illegible]の任に當つて居る者にとつては餘りに詰らない事だ、[illegible]勤務であるから並大抵でないよ、休養を兼ねて二十日或は二十日目に交代で歸つて來るのが途中時化に遭つて僅か一日か二日の休養では折角の休養も休養にならない、今度の方では[illegible]ら見える軍事施設は全部[illegible]つたやうだがその後やらないやうだ、今度上海から各兵船に食料品配給船が絶えずやつて來るので需給許り食はないでもよいので皆この有難さには感謝して居る、それに時々慰問袋の寄贈もあつて乘組員は之を[illegible]の喜びとして居る、最近慰問袋も時々頂戴して皆感激して居る、乘組員一同も[illegible]よ（〇〇[illegible]）

軍機保護法の 運用につき研究

臺灣憲兵隊が二日に亙つて

軍機漏洩防止の徹底を計る爲め新しく發布された改正軍機保護法の運用に就き取締官局たる台灣憲兵隊では、十五、六の兩日、台北偕行社に於て其研究會を開催、第一日は午前九時から午後四時迄增岡憲兵隊長、葛西副官、林台北、宮内台南、小村基隆、波多江彰化の各分隊長並に横尾台中、郷高雄、野々村屏東、古市花蓮港の各分遣隊長川上高雄分駐所長等全部出席、軍より長崎高級副官、警務局より諏訪理事官以下二名が臨席した

社大全國大會

新綱領を決定

【東京十五日發同盟】社大黨第六回全國大會は十五日芝協調會館に開催されたが同大會で決定した社大黨綱領は

一、我黨は國體の本義に基き日本國民の進歩發達を計り人類文化の向上を期す

一、我黨は勤勞大衆を代表し資本主義を改革し産業の計畫化と國民生活の安定を期す

の二項目であり、將來同黨の行動がこの新綱領を中心に如何に展開されるか至大の注目を惹いてゐる

長官代理には 二見警務局長

十五日上京の途に就いた森岡長官の不在中は二見警務局長が代理することとなり同日附發令された、尚須田文書課長の代理は山本人事課長、同時上京の今川專賣局長の代理は三[illegible]稅務課長がそれぞれ同日附で發令された

米國領事更迭

台北駐在新任米國領事ウオーナー氏は十三日小林總督始め各方面へ新任の挨拶廻りをなしたが、前領事ロー氏は十七日台北發、南洋方面周遊の後上海米國總領事館に赴任の豫定

人事

▲木村泰治氏 十五日高砂丸にて上京

▲河合象介氏（前七星郡守）東門町一六二（電七二八九）に住居

▲佐治孝德氏（臺中州内務部長）十四日來北（朝陽號）

▲高原逸人氏（高雄州内務部長）十五日朝來北夜行にて歸任

▲金澤冬三郎氏（日糖常務取締役）作業課長江木啓雄氏と共に十六日虎尾より來北（吾妻）十八日富士丸にて歸京

▲鷹見五郎氏（日糖監査役）十六日虎尾より來北（吾妻）十八日富士丸にて歸京

▲遠山景一氏（臺中市[illegible]）十五日來北（朝陽號）

天無口

佐藤、高橋部隊が十三日拂曉敵前上陸を敢行した白茆口は、あの辺では白茆塘と云ひ常熟を經てからは元和塘となり、蘇州を經て西に南下し太湖の東を經て運河となり、杭州甬鐵道沿線の嘉興に出で、グランド・キヤナルとなつて錢塘江に通じ、杭州灣に注いで居り立派な水路をなしてゐる、軍の上陸地から〇〇キロの支塘鎭に出ると太倉と常熟とを繫ぐ塘太汽車公司路に出る、この鐵道に沿うて〇〇餘に到り常熟に到る訳だが、佐藤部隊は十五日朝の九時半には、早くも常熟の一角を占領してゐる、〝神速〟とも〝快速〟とも申し樣の無い素早さだ▲地圖によると目差す蘇州即ち吳縣は沼澤地の中にあり、東北には陽城湖、東には金雞湖、獨墅湖、南から西に至つては所謂、太湖が遠く漲へ、その沼澤の間を縫うて京滬鐵路が東は崑山を經て上海に、西北は無錫、鎭江を經て南京に通じて居り、又南の方は吳江を經て嘉興で滬杭甬鐵路に繫いで居る▲既に報道されてゐる通り皇軍中の杭州灣上陸部隊は、右の嘉興より蘇州に通ずる鐵道を扼し北進してゐるので、蘇州は今や東の方の崑山方面と南の方の吳江方面とから挾擊される體形にあるが、この際常熟にまで進出した佐藤、高橋部隊が、如何なる活躍を見せてゐるか興味が待ち遠しい▲[illegible]今東西の戰史にも稀れなる南京攻略戰の目前に於ける皇軍の神速果敢な進擊振りには、國民の等しく驚目驚歎してゐるところである。

第一生命の決算好調

▲當社は去八月末日第三十五年度諸計算を締切十一月十五日の社員總代會に於て決議相成候間加入各位に御報告申上候

▲年度末契約高 貳拾貳億五千參百萬圓 前期末に比し 參億六千參百萬圓增加

▲新契約高 四億八千萬圓 前期に比し 六千四百萬圓增加

▲年度末資産 參億四千八百萬圓 前期末に比し 五千參百萬圓增加

▲收入保險料 八千萬圓 前期に比し 壹千貳百萬圓增收

▲利息收入 壹千七百拾萬圓 平均資産に對し 五分五厘利回

▲死亡保險金 壹千六百五拾萬圓 死亡豫定に對し 六割八分一厘

▲事業費 壹千壹百參拾萬圓 收入保險料に對し 一割四分一厘

▲剩餘金 壹千八百八拾萬圓 期末資産に對し 五分四厘

▲責任準備金の積立は純保險料式にて貳億八千三百萬圓。記帳資産參億四千八百萬圓（時價參億八千萬圓）にして責任準備金と時價資産との開きは九千六百餘萬圓なり。

▲本期事業上の利益金貳千四百四拾九萬圓、内五百六拾八萬圓を資産切下に用ひ壹千六百六拾餘萬圓を契約者配當に積立て配當準備金總額五千參百萬圓を有す。

▲尚時局に鑑み剩餘金中より金五拾萬圓を防空設備費として軍に獻納することを決議せり。

保險案内進呈

東京市京橋第一相互館
第一生命保險相互會社
電話京橋（56）自一八一一番至一八一九番 自七一八五番至七一八九番 二五五六番

桃園、中壢郡下の廣汎なる鐵鑛帶

三百ヶ所に亙り試掘を開始

大阪より技師來臺

注目の鐵鑛

【新竹電話】新竹州桃園、中壢の西部に跨り一百三千二万一千四百坪の廣範圍に及ぶ鐵鑛の採掘願を提出してゐる新竹市南門町三橋利喜氏の事業は既報の如く大阪府の多額納税者であり日本實業界の一角に重きを成す岸本吉左衛門氏が本格的に乘出すこととなり岸本氏の使命を帶びて十五日高松技師が來台した、之より三橋氏は既に試掘許可を得て去る十二日より中壢郡大崙に於て既に試掘に着手し順次約三百ヶ所の試掘を爲す豫定であると、試掘期間は一ヶ年ではあるが昭和製鋼所富永技術、久留島貫役等が本月末來台の通知あり之等の点より推して或は最も近き將來に愈々採掘企業化するではないかとも見られ國策の一助として新竹州下で事業の發展を爲すことは州勢發展の意味からも地方民生活の關係上からも多大の期待をかけられてゐる、因に三橋氏は事業の都合上、台北市東門町一一三に居を構へることとなつた

十二米穀年度中 移出檢査實績

品質低下で三等米は減

米穀檢査所調査にかかる十二米穀年度（昭和十一年十一月一日より十二年十月末日迄）に於ける移出米檢査實績は左の如く麻袋入り千百四十四万二千七百八十七袋にして前年同期の一千百三十一万六千四百七十九袋に比し十二万五千三百二十一袋の增、叺入りは二十三万八千五百七十九叺前年の二十四万四千五百六十二叺に比し五千九百八十三叺の減である（單位麻袋入は六十瓩入袋、叺入は六十瓩入叺）

十二米穀年度移出米檢査實績

	麻袋入	叺入
一等	[illegible]	[illegible]
二等	[illegible]	[illegible]
三等	五、[illegible]	[illegible]
四等	四、[illegible]	[illegible]
五等	[illegible]	[illegible]
等外	一〇一、[illegible]	[illegible]
中止	五二、七三六	一、五三二
計	一一、四四二、七八七	二三八、五七九

以上の內注目を惹くのは從來三等が七割方占めてゐたのが五割九分に低下し四等が著しく增加したことであるが之は本年一期米が長雨のため品質低下せるためである

上海向け 配船增

商工業復活と見て

【神戶十七日發本社特電】上海の戰線も皇軍の勝利に次ぐ勝利で早くも上海は商業的に活氣を帶びつつあり國際市上海の復活も間近と見られ茲に於て上海航路は各船渡航者で滿船振りを呈してをり長崎丸、上海丸の運航貨客船では間にあはず郵船では筑後丸（三、三三〇噸）を臨時船として月二回配船の他更に龍野丸（一〇、一三五噸）の大型船を來る十八日神戶發の豫定で臨時配船することになつた

蓬萊愈々出盛り

鮮米大豐作に買氣萎縮

【高雄電話】一期蓬萊米は愈々出盛期に入り各地よりの到着日に一千噸乃至二千五百噸を數へてゐる、十二日出帆した日吉丸以後は船なき爲め高雄港在庫は激增して十五日朝現在臺中から米一万六千四百七十七袋、臺南州上米二万七千八百四袋、南部二万七千八百九十三袋其他二期在來米五千七百二十六袋あり一期米を合せ總計八万八千八百十袋に上つてゐる、沖は內地米收穫豫想が強氣筋の思つてゐたより多く朝鮮米が又豐作を傳へて買氣少つかり失せ[illegible]契約殆んどなき爲め出廻限迫の色急に現はれ十五日は過に南部二期蓬萊十円五十五錢上米十錢下げを唱へ休日前に比し二十錢崩落を告げてゐる、四等米は行拔檢査施行直後檢査成績の急向上から二十錢稍まで買はれたのが再び崩れ今は二十五錢で取引されてゐる三、四等は殆んど紙一重の相違である爲三等は割高視され敬遠される傾向がある、尙蓬萊米の崩落に反し在來米は八円九十五錢長糯十四円三十五錢と案外下遊つてゐる

員林郡下は不作

【員林電話】臺中州員林郡下の二期水稻は目下刈入れ眞最中であるが生育期に於ける螟蟲、浮塵子等の蟲害に次ぐに出穗期に於ける風害甚だしく一般の豫想を裏切つて案外に不作、所に依り無收穫地もあり郡下を通じて前年同期に比し二割乃至三割減收を傳へられて居り米農らは何れも悲鳴を擧げてゐる

丸糯高安投票

【神戶十五日發本社支局特電】十二月十二日限丸糯十二円八十五錢と保合ふ、三菱、湯淺買ひ、三井の長賣りである、尙大阪糯米商懇談會にて十二月十二日限丸糯の入札投票の結果高値は十四円五十錢、高値の安値十二円九十錢、平均十二円六十九錢、安値十二円八十錢、安値の安値十一円四十錢平均十一円三十九錢、肥前米は高値十六円九十六錢、安値十五円三十五錢で丸糯との鞘與通一円とされてゐるから丸糯には買除地ありとされる

日銀帳尻（單位千円）（十五日本社特電）

發行高	[illegible]	[illegible]
正貨準備	[illegible]	[illegible]
預金	[illegible]	[illegible]
貸出	[illegible]	[illegible]

臺南―彰化間 複線工事費計上

繼續年度を延長して

交通局鐵道部が十三年度に要求せる台南彰化間複線工事費千三百七十餘万円（五ヶ年繼續）は都合により未決定の形であつたが拓務省と府當局との折衝の結果五ヶ年を七ヶ年に延長して之を來年度に計上する事に決定した、台南、彰化間は米、砂糖の主產地域であり輸送上[illegible]こ[illegible]必要は早くより叫ばれてゐたところであるが、遲れながらもこれを實施することになれば台灣經濟經濟上に一躍進を促すことにならう、なほ同區間四十二キロ五分の工事年度割及び經費の配分は今の所判然しない

檢米成績は 意外に良好

石拔と三等合格率多し

毎年一期米の出廻り期に雨に惱まされた南部三郡下は今年から雨を避ける爲に早植品種の植付を獎勵した結果、今期の出廻りは例年より十日間も早かつた上に連日の快晴に惠まれ目下十分の八迄は收穫濟みである、出來榮えは至つて佳良で十三日に二千二百三十八袋の檢査申請があつたが石拔檢査は[illegible]一等米も全部合格した、就中宜蘭[illegible]氏の百袋は三等四十九袋、[illegible]五十一袋の好成績を[illegible]一般の成績も三等合格が多く四等に落ちる米は少ない程で、今後は二期米もどしく出る見込である、一方米檢北出張所管內も品質良く叺入れは三、四等位であつた、一日から十二日迄の豫備檢査成績は次の如く四千一百九袋の內石拔の合格數量は三千九百四十四袋（九三%強）の多數に達した、本檢の成績は石拔合格率は九三%強、三等合格率は合格米の八割六分と云ふ曾つて見ない好成績で一期米の四割減收に喘いだ業下の業者は二期米の豐收で十分に埋合せが出來たさうだ

米檢宜蘭北出張所管內成績（自十一月一日至十一月十二日）

	申請數	合格	石拔	不合格	三等	四等	五等	不合格	重量不足
豫備檢査	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]					[illegible]
本檢査	[illegible]				[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	

植檢の蜜柑對策

檢査員の出動を早め 州營豫備檢査に期待

今年も愈々蜜柑の出廻り期に入つたので出征軍人六人を出して手不足の植物檢査所では輸移出檢査の蜜柑對策として左の如く例年より早目に檢査員總動員計畫を樹てた

▲兩檢査員總動員（新竹、臺北、高雄、臺南等の各檢査所に分析及び殖產局員等十四名の應援を得、新竹分所（定員二名）には來る十九日より二名、員林（定員五名）には十七日より十一名を增員し十二月一日よりは員林を八名に減じ二名を新竹に增員し六名とし年內の急場を切拔けることになつた

▲州營檢査の徹底 各州の州營檢査の徹底を期し本檢査の負擔を輕減し能率向上を計る、この外出荷主には平均出荷を慫慂

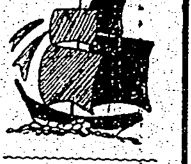
植物檢査所

十月中の實績

植物檢査所調査の十月中輸移出檢査實績は左の如く總計に於て文旦七万九千四百三十七顆、斗柚十一万六千六十二顆、總顆計九万三千四百九十九顆にして前年同月の總顆計二十六万三千五百五十一顆に比し七万五千五十二顆の激減となつたが之は斗柚[illegible]として相當數出たためであり、西瓜は三千六百二十六顆にして前年の一万二千八百三十三顆に比し九千二百七顆の減を見たが之は本年は天候關係で出廻り遲れ十月下旬に至つて漸く出初めたによる

十月中檢査實績（單位顆）

檢査所別	文旦	斗柚	レモン	西瓜
臺北	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
基隆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新竹	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新埔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
員林	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺南	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
高雄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]



時の問題

取引所改革案

資金統制上の障害除却

資金統制強化に連れ各方面とも自由主義經濟の色彩は漸次薄らいで行くが

◇…獨り 株式市場のみが取り殘されて居るかの觀がある、過般の綿絲取引所に對する統制は、今後の取引所問題に對し、有力なる示唆として一部から注目されて居る

◇……

準戰時體制への移行に連れ、その過渡期に於ける餘波として、財界[illegible]

株式取引所の一角に自由主義經濟時代の面影が色濃く殘されて來たに多少の混亂を來たすことに免れ難い所であるが、それが急に米綿絲を除くとも限らぬ、それは內外ともに過去に於て幾多の例がある所であるが

◇…政府 はそれを怖れてか、それかと思ひで、今日まで努めて取引問題に觸れることを避け様として居る、それが今日まで何時までも現狀の儘にあることを許されぬ狀態である

◇……

それは今度の資金統制に關聯し大藏省及び日銀其他の緊切に感じたことで、資金を軍需關係工業へ向けようとしても、それがうまく行かない、しかも株式取引所方面に於ては、依然として「花形株」とか「主力株」とか謂はれて盛んに

◇…投機 が行はれてゐる。…日の賣買の相場に於いて見ても…現在の取引[illegible]

◇…通算 すると[illegible]株にも達する、その總額は[illegible]千万円であつて、それは投機資金として動いてゐるわけであり、しかもそれは新東株ばかりでなく[illegible]

◇…昨年 大藏省が馬場藏相[illegible]

宜蘭製糖所

一月二十日始業

昭和製糖宜蘭製糖所は今期の原料が水田區域に著しく增加し總原料一億七千八百三十五万二千斤、甘蔗十一万一千二百五十斤に上り步留一割二分二厘として二千二百万斤位となる最多記錄を作らんとする狀況なので從來二月中頃に作業を始める慣例を繰上げ明年一月二十日から作業を開始することに內定してゐる、其他の工場は開始期未定である

樺山町驛

來月より開く

驛長は靑木氏と內定

十二月一日から業務開始する臺北樺山町の貨物專用驛の驛長には鐵道部運輸課[illegible]勤務の靑木直貞氏が就任することに內定し十二月一日附で發令される筈、なほ同驛は一日附で發令することとなつた

檢査標準米

查定會終了

【高雄電話】高雄州二期蓬萊米檢査標準米查定會は十三日午前十時より米檢高雄支所にて開催、午後二時終了したが發表は近く總督府で發表することとなつた

ジリ安の丸糯

十一圓臺出現

朝鮮延着落と期米の氣崩れを眺め産地の快晴續きも手傳ひ、休日明けの正市人氣は買方の投物續出し軟派の追撃と相俟つて、頭來籠甚的低安を示した、丸糯はたうたう問題の十一円大臺を割つた、後場は期末の一段安を入れて買氣沮喪し十一月廿五日限の如きは十一円八十九錢と飛び込みアト期末小反撥の入報に利喰が出て十一月十五日限は十一円九十九錢迄小戻した蓬萊米は出廻り急增を傳へて買氣を阻まれ後場富限十四円七十四錢、中限先限共十四円六十五六錢と休日前より十五六錢方下押した、午後五時半の氣配は蓬萊富限十四円七十七錢、中限十四円六十八錢と戾り丸糯十二月十日限十一円九十八錢と保合つてゐる

臺南州下の 製糖開始期

決定せる工場

【臺南電話】臺南州下各製糖工場における昭和十二年期開始期並に原料見込高並に步留等決定したもの左の通り

	開始	原料見込（千擔）	步留
烏樹林	十一月廿五日	[illegible]	〇・[illegible]
明治蒜頭	十二月廿一日	[illegible]	〇・[illegible]
南靖	同	[illegible]	〇・[illegible]
新營	十一月十一日	[illegible]	〇・[illegible]
日糖總爺	十一月廿五日	[illegible]	〇・[illegible]
大日本虎尾	十一月廿五日	[illegible]	〇・[illegible]
斗六	十二月一日	[illegible]	〇・[illegible]

源成製糖場

原料稍減收、一月十日より始業

三五公司源成製糖場の今期蔗園は第二回調査の結果原料收穫見込九千二十三万五千五百二十斤、甲當收穫十二万六千百四十斤、步留一割七厘として產糖高十万五千五百七十五担を見込まれてゐる、之を第一回調査に比すると原料收穫見込高で四十二万五千五百二十斤增、甲當收穫で二千二百六十斤を減じ步留を一厘程見積よりの一割一分より二厘方低く見積つてゐるので原料增と相俟つて產糖見込高二千八十五担の減を示してゐる、同社の原料は昨年同期より[illegible]

本島貿易

大連、滿洲好調

對支は殆ど全滅の姿

南洋貿易も不振

滿支南洋と

臺灣總督府稅關調査にかかる十月中の本島對外貿易實績は左の如く對支貿易は事變の影響で輸出僅か十三円で全然輸入は四十五万円で前年より七十六万円の激減が注目され、香港、南洋貿易も輸出入共激減を示した、之に反し大連は輸出入共激增し滿洲貿易では輸出增千入共激減した、右の結果對支、香港、南洋貿易合計では輸出七十九万円と前年に比し六十七万円減、一月以降累計では一千五百二十五万円と前年より七十八万円增、輸入は一百二万円と前年に比し五十五万円減、累計では二千五百六十六万円と百九十七万円減となつた、其他諸國との貿易輸出、入共頗る好調を辿つた（單位千円）

	十月中	前年同月比增（▲）減	一月以降累計	前年同期比增（▲）減
◇支那				
出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇滿洲				
出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇大連				
出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇香港				
出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇澳門				
出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇南洋				
出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇合計				
出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇其他諸國				
出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇總計				
出	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
入	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

內外商況欄（十五日着電）

期米

朝鮮延べ安に 下放れて跡軟調

堂島米況前場

【大阪十五日發同盟】五十万石高値落れに強人氣ながら朝鮮米運賃引上げと鮮米第一回收穫高豫想百五十餘万石增加朝鮮延急反落安移し買氣沮喪し當限五十五錢安限二十一錢安く先限は二十一円四十九錢と九丁方下放れて寄付き東京筋の値頃賣りに五銭四十錢と低落アト地場強氣筋の買進みに四十七錢と引返したが朝近併鉛みに結局四十一錢と鮸者に引けた

堂島米況後場

【大阪十五日發同盟】後場は朝近區々ながら先限は東京筋、中東筋賣に朝鮮筋、神戶筋買を消化し三十二円三十六錢と五丁安に寄付きアト東京反撥に押目買弗々現はれチリ高の四十四錢と高値引け

【大阪十五日發本社特電】非常時局に處すべく政府は極力消費節約を勸めるに拘らず米に對しては需給數字の架關を設いてゐるのは不思議の事だ▲高米價政策に依る米價高を招來し或は消費減となるやも知れぬが今回政府の需給推算なるものを其の儘信用することは今後禍根となるやも知れぬ▲カスレは依然たるもので拾下由なる故だ▲仁川筋に産地は賣りなしこれは買上げ期待に相當手持を擁し賣急ぐ傾向ないためだと▲東京前場は押下げ不良分散的に好成績なる万石拾下は全國の安値入札が多かつた

相場低落の見られたのが強氣分強氣の期待に反し高値を飛びついた嫌さず堅叩いたので今一步高値から五十丁押を演ずる所從賣り既せられ人氣一轉不妨化した

【大阪十五日發同盟】米收第二回收穫豫想は強氣筋の弱氣的に相殺されしも朝鮮米の運賃引上げと配給統制に依る當節に買氣を殺ぎ且つ東京筋の熱心賣に加へ季節と値頃感の弱勢も現はれ、相場軟調を呈したが一般は百万石の買上げの結果待の人氣となつてゐる

堂島兩建控除後合

[illegible]

大阪期米後場

[illegible]

東京期米後場

[illegible]

神戶期米後場

[illegible]

各地期米引締氣配

[illegible]

米界餘聞

堂島雜觀

【大阪十五日發本社特電】[illegible]

糖砂

出庫良好 現物高

【大阪十五日發本社特電】[illegible]

大阪砂糖清算前場

[illegible]

大阪砂糖清算後場

[illegible]

大阪正米標準値（十五日本社特電）

[illegible]

東京銘柄清算前場

[illegible]

大豆粕

[illegible]

大連同材料

[illegible]

穀肥

大連特產取引前場

[illegible]

神戶豆粕前場

[illegible]

神戶豆粕後場

[illegible]

神戶硫安相場

[illegible]

下關麥粉相場

[illegible]

大連特產出來高

[illegible]

島內商況

期米安に 一齊崩落

正市

蓬萊米は期米反落と在庫米急增で崩れ、[illegible]

臺灣正米市場後場

[illegible]

臺米現物相場

[illegible]

臺中米價（十五日）

[illegible]

基隆在庫米

[illegible]

高雄在庫米

[illegible]

臺北籾相場

[illegible]

株式

時局急速進展に 新東中心に踏上げ

兜町前場況

【東京十五日發同盟】[illegible]

東京短期後場

[illegible]

大阪短期後場

[illegible]

東京長期後場

[illegible]

大阪長期後場

[illegible]

大阪短期取組

[illegible]

東京長期總取組

[illegible]

大阪重要商品（十五日本社特電）

[illegible]

東京市中コール

[illegible]

財界 株界

（北）（濱）（展）（望）

【大阪十五日發同盟】[illegible]

【東京十五日本社特電】[illegible]

絲況

大連特產前場況

[illegible]

大阪綿絲前場

[illegible]

大阪綿絲後場

[illegible]

大阪棉花前場

[illegible]

大阪棉花後場

[illegible]

大阪人絹前場

[illegible]

大阪人絹後場

[illegible]

橫濱生絲前場

[illegible]

橫濱生絲後場

[illegible]

株式債券賣買
二 大阪屋商店
臺北市壽町 電話 四五〇七 四五〇八 四〇〇九

壯丁團に竹腰の國防服

誠 迅
株式現物賣買・株式取引仲介
イ 池田商店
台北市大和町四ノ八（本島町）
電話 [illegible]
是非御用命を乞ふ

外科 皮膚科 泌尿器科 X線科
一番ヶ瀬醫院
本町二丁目五番地 電話二二七八九番

外科 肛門病科 X線科
菅野醫院
本町三丁目（病室完備）醫學博士 菅野尚夫

產科 婦人科
鶴田醫院
京町三丁目（宝通り）（入院隨意）電話四二九七番

眼科
塚原眼科醫院
表町二八 電話四三〇番（入院隨意）醫學博士 塚原義夫

小兒科
武藤醫院
表町二丁目（中央隣り）（入院隨意）電話四八五九番

耳鼻咽喉科
藏田醫院
京町壽通り（病室完備）電話五二二七番

小兒科
松山醫院
榮町二丁目八（新公園通）電話四一五四〇番

產科 婦人科
福田醫院
大和町（病室完備）醫學博士 福田[illegible]

齒科
小林齒科醫院
台北市京町二丁目（鄒通り）電話二八二一番

內科
秋山內科醫院
京町二丁目 電話五九八番（入院室完備）秋山[illegible]

耳鼻咽喉科
天野醫院
榮町一丁目八番地 電話四四〇二番

皮膚科 花柳病科 泌尿器科
三船丸醫院
表町二丁目二番地（宝通り）（入院隨意）電話四八五五番

皮膚科 泌尿科 性病科
千本醫院
京町一丁目五二（ゼンポ）（病室完備）醫學博士 千本信次

小兒科
關屋醫院
京町一丁目五二番地（入院隨意）電話三八七二番

外科 肛門病科
菅沼醫院
本町三丁目二番地（入院隨意）電話二九〇番

小兒科
信生堂醫院
末廣町二丁目 電話五五二六番（病室完備入院隨意）森[illegible]子

文藝

珍籍 SERINDIA
文化と支那の民情
（下）

升田榮

偶にスタインは世界的に有名な敦煌旅行をしたことである。彼は此の壯舉に關して「SERINDIA」第一卷に"Ruins of Desert Cathay"（沙漠の契丹廢墟）として、旅行記と發掘顛末、敦煌方面の地理風俗等をも描いてゐるが、此の一卷に記してあることによると、其の行をして壯行たらしめ且つ世界に名を轟かすに至つたものであり、吾人の今問題として攷考を煩はさんとする所である。それに依ると、古來この敦煌の千佛洞は、如何なる學者も入ることはおろか近づくことさへも許さない、又危險なところとされて居たのであるが、スタインは一九〇七年の三月に敦煌に行き、其所彼所と發掘やら案内やらで行つてるときに——僅か五、六哩ばかりの處に洞のあることを發見され、聞いて見るとそこには珍しい古經卷があつた——といふ噂を聞き込み、大喜びで直に行つて見た。所謂洞は、ある、が住僧と主らしいものは居ず、住持は托鉢行脚に出た留守とかで、仕方なく、そこに居た西藏の小僧にねだつて經卷の一部を見せてもらつたさうである。ところがそれは漢文だつたので、漢文の判らぬ氏は、何でも古典で好いものであつて、といふ位のところで一先づ其所を引返し、輾て果察の上一ケ月もしてから今度は支那の通譯を雇ひ込んで再びその洞に出掛け懇願した結果、そこの住持を丸め込み、その際には[illegible]といふ話のもとに、經卷、繪畫等凡ゆる目ぼしいものを買收して（勿論此の買收額は時の銀五十枚だつたといふことである。）凱旋將軍を極め込んだ訳である。

此の洞こそが有名な千佛洞であり、その獲物が世界の學術界をあつと言はせたものである。何としても驚かざるを得ないことではあるまいか。其後、これはといふのでフランスの有名なペリオが行き、又、スタインも第二回目の行を起して夫れ／＼ウンと獲物を持ち歸つたことである。ところが、それだけなればそれでよかつたのであるが、其の後、その千佛洞の出來事を支那政府や學者の知るところとなり、當の住持はつひに、國寶を外國人に賣却したといふかどで、首をはねられたとのことである。

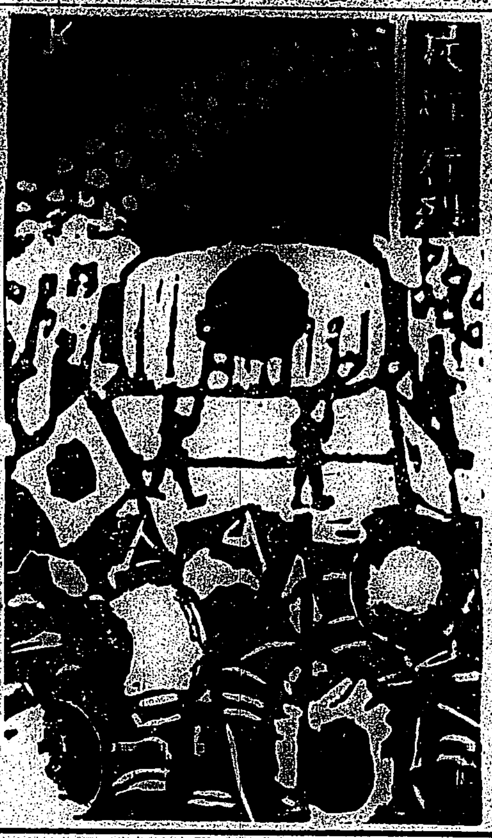
然して殘りの珍寶を時の北京政府が持ち歸り納藏した由であるがさてその後、間もなく不思議やこれ等の珍寶は要人達の膝下からその姿を變して、どうかなり、今は一つもないさうである。前に住持の首をはねた程のものが、今やその殘りの珍寶の影も形もないといふに至つては、啞然たらざるを得ない事ではないか。これを單に「支那式」であると片づけるにはまた餘りにもあつさり片付け過ぎることであらう。しかし、是れが事實である以上はさて如何とも詮術もないことである。

昔て、張學良が、作霖の歿後、その實力が楊宇霆にうつりさうなので、學良は宇霆を暗殺し、楊夫人に「これは寸志だが」と金一封を贈つたら、夫人は却つて、感謝したとか云ふことを聞き及んだことがあるが、彼此思ひ合せて要するとき、支那上下民心の程、思ひ半ばに過ぎるものがあらう。

とは言へ、前述の通り支那の沿海方面は兎に角、奧地一帶は考古學上、古代文化研究上、殊に東洋に於ける史學、地理學乃至美術上、思想史學等凡ゆる學術研究上の資源地であり寶庫であるからには、彼等支那人が斯うした方面に對し無關不樹であればあるだけに我等は大日本人として一層責任も重く一層周到な注意を要することである。

以上、支那事變が吾人の確信通りとなり、奧地へ／＼と敗退する支那兵が相ひ、ついに「SERINDIA」にかかはり、その古典珍籍の流出をとほして彼等の心根の一端を窺つて見たのであるが、斯うしたことも事變後の我が支那對策の上に、又吾々互ひの間においても相當參考となることであらうと思ふ。

【附記】「Serindia」に憧がれて何うすることも出來ない筆者と同じやうな運命にある人達のために。「Serindia」が東北帝大の圖書館に珍藏されてあることを御知らせする。これは、東北帝大初代の文政學部長故阿部豐八博士の文庫が同圖書館に收められてある、その文庫の中に有るもので、立派なものである。筆者の見たところでは實に完全なものである方法を以つてすれば閲覧も出來る。尚、大谷光瑞師の派遣に依つて齎らされたものは、光瑞師、東京の有光社から『新西域記』と銘打つて發刊された。四六判八〇〇頁千四百餘頁、上、下二冊の相當大物である、特價四二十円であつたことをも序に附記して置く。



提燈行列（木版畫）

木村生

大提燈行列の折の提燈行列中、當日の「大提燈かんらく」が異彩を放つてゐたので彫つてみました。

手前は白線學生です。（作者記）

雜誌紹介

▲政界往來（十一月號）内閣參議制度の背後（河原隆士）「蔣政權の背後を衝く」と題して、英國側を踊らすもの（馬場秀夫）沒落後に來るもの（長谷川了）上海戰線視察代議士座談會（大野伴睦外他四名）「支那事變と英米」の題下に英國の東方政策（細川武治）日本認ゆる東亞觀（金生喜造）英國の現有兵力（坂入孝一）を始め、向日ソ國民性の强要（山城維城）[illegible]の抗擊（新谷哲二）戰時と政黨（堀子島俊治）戰局對策の要諦（松本半）その他（〇・四〇、東京・芝・琴平町一、其社）

▲モダン・ダンス（十一月號）非常時局下のダンサー諸嬢へ（植木二郎）國策タンゴバンド誕生時代（岡幽武）ジャズフラッシ　ユニユース（村岡貞）タップダンス入門者の手引（館野美）その他（〇・二〇・東京・芝・今入町一五、甲國ビル其社）

支那畫談義 ②
魏清德

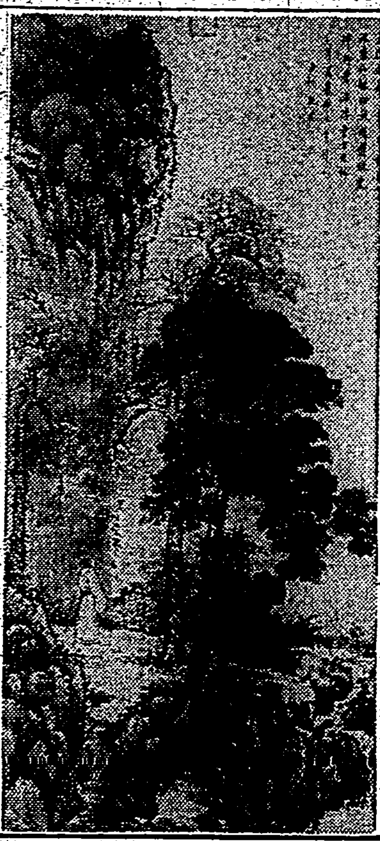
近代畫

明朝及び民國の畫はこれを近代畫と云ふ。清朝の畫家が明の王紱、王黻、陳道復、周臣、唐寅、文徵明、沈石田、仇英、徐渭、黃道周などの畫風を淵源したる系統も明代が元の畫風を學びたると同しく其影響は極めて大きい。就中清初の王時敏、王鑑、王翬、王原祁、吳歷、惲壽平の六大家は悉く董其昌、又は明末に明の董其昌に私淑して正統派の筆墨を以て一世を風靡し其の流風餘韻、民國間まで波及して厳然として畫壇の大觀を呈した故にここに四王吳惲の略歷を紹介する事も無意味でないと思ふ。

△王時敏　字は遜之、號は煙客、相國文肅公錫爵の孫である詩文と畫を善くし[illegible]八分に長ず畫に特に董其昌氏に師事し其畫は家藏（董源）に深く推奬せられ[illegible]の寶藏既に豐しき上にただ巨金を惜まず名蹟を蒐藏した、常に一室に靜居して書畫を考へ、偶々會心の處所を得れば卽ち拼然指かず晩年に至りては其作品神品と稱せられた、官は太常寺卿、清初畫苑の領袖でよく人の為めに畫したりといふ。海虞王氏を始め其他の畫家の教へを得て名を成したるもの少からず。

△王鑑　字は元照、太倉の人、性の天性豐かにして四朝の名蹟を遍く覽する所多く其畫法毫絶と稱せらる年輩は煙客と伯仲し互ひに切磋琢磨相共に畫に開拓の功ありと云はれた官は廉州太守に上りたるにより世呼んで王廉州と稱した。

△王翬　常熟の人、字は石谷號は耕煙、外史、幼より畫を好み運筆構思、天然流露道に時流の上に出づ。廉州太守の門に遊び其の指授を受け文備に大江南北の收藏家の名蹟を見て一一之を臨摹し遂に一世の大家と成る、曹倦圃、吳梅村に於て石谷を畫聖と稱した、張木庵に、畫に南北兩宗あり石谷に至つて始めて合流したといひ、後に其の畫品を王漁洋の詩に擬せられた



山水圖　沈周畫

淋病

失望無用！
十數年の慢性も
續々根治する

世界的
發明療法

素人が絕對安全に使へる
醫師の專門淋病藥

膿は五六回で止り
尿は數回で澄む

東京泌尿科病院院長　醫學博士　田谷利男

◆內服藥では絕對に根治せぬ

「醫師から見れば內服藥は氣安め程度で、淋菌を殺す力は全然なく、一時的に尿道の膿を流し出し幾分炎症を收斂があるに過ぎないのは、獨逸の世界的學者スタイン博士其他が發表せる事實で、ピヤクメン油を始め如何なる內服藥でも根治せず加之胃腸を害し膀胱を刺戟して血尿の出るが如き有害作用があるから學識ある治療の巧な專門醫師は、內服藥に眼もくれず直に信用ある絕對效果的局所殺菌法で短時日に淋病を根治する事が出來る。之れは世界に通用する絕對眞理である。」

◆後來の治療藥では再發する

淋病は局所治療で然も殺菌劑でなくては全治せずと世界の醫師が決定してより、幾多な局所殺菌劑が洪水の如く出てゐるが、どれもこれも研究が足らず眞に醫師の滿足する局所殺菌劑の全能使命を發揮する事が出來ず、相當長年治療しても時候の變り目飲み過ぎ過勞後に再發する慢性の苦しみを嘗める人が頗る多いのが現狀である。尿道の裏側に海綿體と云ふ目に見えぬ小さい袋の集まりが無數にありその間に尿道腺管と云ふ細長い深い管が多數ある。淋菌は好んで其等の中に侵入し一度入れば從來の如き洗滌藥で洗つた所で、浴びる程內服藥を呑んだ所で、尿道坐藥や粉末劑やその他の注入藥では假令局所殺菌劑であつても醫師に潛む淋毒菌は金輪際殺す事は出來ず、所藥の有效で其他注射も光線療法も電氣療法も、治療費がかゝる割に效果は決定出來ず專門醫は敢て從來の治療で失望を舐めて來たのであるが、研究多年の苦心報ひられ今や醫界を驚倒する實效藥が發明された。」

◆最後の一菌まで殺す

プラオンギンの超威力

驚く最も短い日數で何れ程こじれた慢性淋病も完全に治り、絕對再發せぬと云ふ世界の醫師の理想を實現した權威ある革命的治淋藥プラオンギン・ケンゴールの發明は、何はさておき淋病患者救ひの神である。主成分プラオンギンは之れを萬倍に薄めても二分間以內に完全に淋毒菌を殺す猛烈殺菌力を尿道の奧側の如何に微細な部分に迄もドン／＼進入發揮して、最後の一匹迄殺し盡す驚く可き發明劑で、專門醫師が全部根治の折紙をつけた前人未發見の神秘的殺菌劑である。

而も一回に僅か小豆位の小量を絕對安全手輕な發明方法で尿道へ使へば、殺菌力はグン／＼奧側へ進入偉力を發揮し膿は數回でピッタリと止り尿は迅速に澄む。一日二回の治療で一回二分とかゝらぬから忙がしい近代人にも手早く治し度い人にはこれ程都合の好い決定療法は斷じて他になく如何なる淋病も失望絕對無用である。

◆十數萬の生きた根治例

內服藥其他でこじらせた頑固な慢性淋疾も、本劑は實際に效目を現はし、余が病院で驚く使用した總數十數年來の難症も僅か一ケ月足らずで全治し過勞時候の變り目にも絕對再發せぬ實例が無數にある。二三年のものなら半月前後に全治する。醫師が絕對の信用を置く殺菌藥で素人にも安全手輕に使へるから既に十數萬の全治者がある。實驗と同視せず直に本劑で決定治療をせよ。一回使用が遲れると一日治りが遲れる。

前東京吉原遊廓
吉原病院長佐藤榮先生
發明創製

プラオンギン
ケンゴール

全快保證す

プラオンギン・ケンゴールを使はずに淋病は不治と云ふ勿れ、本劑で根治した實例は無數。內服藥其他で全治を斷念する勿れ。急性慢性共に最初はケンゴール一號、續いてケンゴール二號を使用すこの特長があればこそ再發しない根治が出來ます

全國藥店にあります品切れの時は下記代理店へ直接御註文下さい。

普及品　一・九〇
二五瓦（約十七日分）三円八十錢
五〇瓦（約卅五日分）七円
八〇瓦（約五七日分）十円
男子用（ケンゴール一號ケンゴール二號）婦人用（三號）の別あり御註文ノ節ハ御明記アレ。

代用藥絕對無し
本劑は研究發明劑ですから代用品は斷じてなし。お買求めに際して日東製藥合名會社製品プラオンギン・ケンゴールと特に御指定下さい。

日東製藥合名會社製品

總代理店
東京市芝區濱松町十三番地
合名會社　河［illegible］商店
振替東京三五〇一九
電話三田（一六六八・一六八五）

K10

ウテナ
バニシングクリーム
CREAM

ウテナ（雪印）バニシングクリーム

正價　六五セン・三五セン

美しい方にお聞き下さい

クリームだけはきつと
最良品をお使ひの筈…
美しいお化粧も大切な
肌地一つが問題です！

美しい方のお肌は必ず練絹の樣に柔軟に艶々しいはずです……
ご使用中のクリームがウテナバニシングのやうに良いものでしたら
それは間違ひのないところです！

素肌の美もお化粧の
美もこの一品で！

ウテナバニシングは乳化の完全な純白無脂肪性のクリームですから、誰方のお肌にも適合する素晴しい美肌力のクリームです！　さらりと爽やかに溶けて皮膚の深部から美しく培ふとともにこのクリームを淡化粧下にお用ひになりますと白粉のノリが良くなるばかりでなくお化粧美が倍加されます！　ふくよかな立體的なお化粧が驚く程永持ちするから素適です！

●清楚な淡化粧下に
●お肌の護りに最良

ウテナ化粧料本舗　株式會社　久保政吉商店

貴方の肌に一番の白粉

他の白粉とはマルで段違ひの美しさにツク……

ウテナ粉白粉は粒子に獨特の新工夫が施されてゐるため、ツキの自然なこと申分がありません！　どんなお肌の方にもよくなじみ溫かみある健康な化粧美を發揮いたします！　お化上げの美しさは他の白粉とは段違ひの美しさです。是非お試しを！

肌色・濃肌色・白色　健康色・ブルン・ナチュレル・オークル　一號・二號

正價　五五セン・三〇セン

ウテナ粉白粉